

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	学習支援、居場所、食事提供を兼ねた「ひろば」の運営		
	団体名	ユッカの会		
	実施期間	2021/10/1 ～ 2022/9/30		
<p>食生活の貧困が見える子どもを含む子どもたちが集い、ユッカの会や地域のボランティアと学習し、団欒の中で夕飯を食べて帰る「ひろば」活動を横浜市栄区の地球市民かながわプラザで実施する。</p> <p>食事は、営業許可のあるレストランで そのスタッフ監修のもと、地域の人たちや子どもの保護者に協力してもらいながら提供する。</p>				

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	日本語教室カフェ事業		
	団体名	霧が丘インターナショナルコミュニティ		
	実施期間	2021/10/01 ～ 2022/09/30		
<p>気軽に日本語を学べる教室をオープンする。その日本語教室を通じて外国人の悩みを聞き相談にのる場を地域につくる。お互いの悩みを確認でき、時にはそのような相談からニーズを把握し必要なセミナーを開催する。</p>				

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりのはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2021/10/1 ～ 2022/9/30		
<p>①大人の日本語教室と子どもの学習支援教室を実施し、その中で生まれた支援者と学習者の関係性をさらに深化・発展させるために、外国人当事者の「語り」を聞き取り、デジタル作品として仕上げ発表する活動を新たに実行する。②このイベントの企画、実践をきっかけに、日本語支援・外国人支援の活動を行っている神奈川県西部地域の他グループとのつながり、連携を強化する。</p>				

2021 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	県内イラン人の多文化共生チャレンジ事業		
	団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2021年10月 ～ 2022年9月		
<p>県内の多文化共生活動をアピールする機会は徐々に増えているが、イラン人コミュニティの活動を県民に知らせ体験型交流を行う機会は少なく、重要である。交流体験を実施する事を目的として①多文化共生カレンダーの作成・配布②ペルシャ料理とエプロンづくり体験③バリアフリーウォークラリーとユニバーサルスポーツ体験を行ない交流を深め、県内イラン人と県民が楽しくチャレンジし多文化共生の意識を高める。</p>				

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送る為の、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
<p>電話や携帯のメッセージでムスリムの女性から質問や相談を受けたり、希望者には直接家を訪問して相談をうける。</p> <p>必要であれば、病院や市役所その他の施設に同行支援を行う。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2020年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	外国人保護者の子育て支援事業—Kindy Support		
	団体名	NPO法人 Sharing Caring Culture		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
<p>外国籍家族が集住しておらず転入も多い横浜市青葉区、都筑区において、特に在住歴が浅く、日本語でのコミュニケーションが難しい子育て世代の外国籍家族が孤立せずに生活できるように、主に未就学児を育てている外国人や日本人の母親が集い、子育てに関する悩みを共有するOYACO's Roomを開催する。</p>				

2020年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	外国人生徒のための進路支援事業		
	団体名	多文化ユースプロジェクト		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
<p>多文化ユースプロジェクトは多様な背景をもつ若者のネットワークを作り、外国につながる子どもたちの進路や学習支援を行う団体である。また、多文化共生を目指して、社会に対する発信も活動の一環として行っている。このプロジェクトは外国につながる若者たち(高校生、大学生、大学院生など)が主体となって、神奈川を中心に活動している。</p>				

2020年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
<p>神奈川県西部地域の秦野市・伊勢原市および周辺市町村において、外国に繋がる子ども・若者が日本で生きていく力を獲得し、自立生活を営んでいくことを目的に、外国につながる子どもの学習支援教室、保護者たちの日本語学習教室、学習者と支援者の交流会を展開する。</p>				

2020年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	韓国の自活事業団体と神奈川の地域団体をつなぎ、地域住民が草の根レベルで生活困窮支援を行う経験交流		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
<p>韓国の団体「慶南地域自活センター」が行っている生活困窮者自身が事業を立ち上げる事で貧困問題を解決する、という先進的な活動の経験を、神奈川県を中心とした地域連携団体や地域市民へ、民際交流を通じて共有することで、韓国と日本の市民同士の連携を強化するとともに、双方が地域資源を生かした課題解決能力を向上させることを目指す。</p>				

2020年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥720,000
	事業名	在日イラン人の新型コロナ感染症対策プロジェクト		
	団体名	NPO イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2020/7/22 ～ 2021/3/31		
<p>①神奈川県内の在日イラン人と日本人約10名が参加、神奈川県秦野市内でコロナ感染対策のワークショップを実施(8月基礎編・9月応用編)②神奈川県内在住の在日外国人約5名が2020年8月～2020年12月マスクを約300枚作成、県内の障害者や外国人に配布し感染予防の啓発活動をする。③①の活動を動画にして、コロナ感染症対策のDVDを作成し感染予防の広報活動を実施(日本語版・ペルシヤ語版を作成しイランでも活用)</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談及び支援		
	団体名	特定非営利活動法人 リンク トウ ミャンマー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>神奈川県在住、就労など同県と関係の深い在日ミャンマー人を対象とし、民族や出自を問わず、問題発生時に電話や面談を通してミャンマー語や日本語で相談に乗る。通訳者の手配、同行支援、他支援機関との連携などをおこない、年間約200件の相談に対応する予定。活動内容の報告や広報も行う。</p>				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送る為の、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>家族の男性なしでは外出ができず、日中を家の中だけで過ごすなど習慣の違いから生じる日常生活の問題の多いイスラム女性たちを対象に、生活に関わる同行、訪問、相談支援を行い、また、交流会等を通じてイスラム女性たちが日本になじみ、日本で暮らしが円滑で生き生きと送れるよう支援する。</p>				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人の居場所づくり事業		
	団体名	NPO法人外国人支援ネットワークすたんどばいみー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>外国人多住地域である県営いちょう団地などで、外国にルーツを持つ青少年を対象に、①ロールモデルと出会うきっかけづくりのお話会、②保護者に対して、通訳や翻訳資料、学校生活に関する翻訳された「ゆびさしイラスト集」を作成・配布をおこない、事業の周知のためのPR活動も行う。</p>				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人生徒のための進路支援事業		
	団体名	多文化ユースプロジェクト		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>国内2番目に外国人児童生徒が多い県として知られている神奈川の子供たちの高校入学後の進路を把握し、外国につながる若者(多文化ユース)のネットワークを構築する。多文化ユースの先輩としての経験を活かし後輩に還元、日本社会に自分たちの存在を積極的に発信して、より緩やかでカラフルな社会づくりを目指す。</p>				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国籍家族の子育て応援プロジェクト		
	団体名	NPO法人 Sharing Caring Culture		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>外国籍家族が集住しておらず転出入も多い横浜市青葉区、都筑区において、特に在住歴が浅く、日本語でのコミュニケーションが難しい子育て世代の外国籍家族が孤立せずに生活できるように、地域の外国人親子と日本人親子が出会う場として、英語での歌、手遊び、工作、読み聞かせを行う親子交流会の実施、言語教育や小児医療などに関する英語セミナーなどの開催、子育て関連の情報支援を行うことなどにより、地域の中で関係性が築かれる機会を創出する。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2019年度	事業区分	国内協力	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりのはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>神奈川県西部地域の秦野市・伊勢原市および周辺市町村において、外国に繋がる子ども・若者やその保護者に日本語力と日本特有の様々なシステム・慣習に起因する困難により、日本での生活を営みにくい状況が生まれている。</p> <p>そこで、これまで、公民館における子どもの学習支援を主としてきたが、新たに外国に繋がる世帯が日本で生きていく力を獲得し、自立生活を営んでいくことを目的に、①外国に繋がる子どもの日本語学習、②外国に繋がる世帯の保護者の日本語学習と交流会、③外国に繋がる世帯の状況を伝え、理解者から協力者になり、多様な地域の互助・共助を形成することを目指す。</p>				

2019年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥178,977
	事業名	組織の自立を目指した支援者・会員・寄付確保のための広報活動の充実		
	団体名	特定非営利活動法人 リンク トゥ ミャンマー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>神奈川県と関係の深い在日ミャンマー人を対象とした電話や面談による相談事業等を進める同会の支援者の拡大と安定した財政基盤づくりをおこなう。</p> <p>ウェブサイトの充実、インターネットでの広告、インターネットを通じた資金と会員・ボランティア集め、SNSの活用、イベントへの参加、ニューズレターの発行、団体パンフレットの配布などをおこない、団体の知名度を高め、共感を集める。</p>				

2019年度	事業区分	国内協力	助成額	¥415,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育 ～観察力・論理的思考力・対話力を高めるために～		
	団体名	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
<p>「絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育」3年目の事業として、この活動を広めるための報告会を開催する。また教材内容をさらに検討し、更なる活動内容の充実化を図るために、図書館との連携、研修会を実施。特に難しいと考える小学校中学年(3・4年生)の教材となりうる絵本の情報を得る。教室の運営は、前年通り大和市の小学校2校で行い、「絵から始める日本語教室」で、子どもたちが自分の考えを日本語で表現できるようになるサポートをする。</p>				

2018年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ラオス・タイ人のための日本生活情報セミナーと相談会開催		
	団体名	サバイディ・ラオタイサークル		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>綾瀬市寺尾中にあるラオスコミュニティーを主として、年6回程度、生活・健康・養育・その他、彼らにとって身近に必要な情報を現地の言葉ややさしい日本語を用いてわかりやすく説明するセミナー及び相談会を実施し、日本での生活が円滑になるよう手助けをする。</p> <p>※中間報告の時点(2018/3/31)で活動を休止</p>				

2018年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送るための、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>綾瀬市で増えつつある在住イスラム女性たちの生活に関わる同行、訪問、相談、情報提供などの支援、交流会や親睦会を実施し、イスラム女性たちが安心して、生き活きとした暮らしが送れることを推進する。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2018年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住ネパール人のための相談窓口プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人かながわネパール人コミュニティ		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>昨年開設したネパール人対象の相談窓口を継続し、来日間もないネパール人のコミュニケーション、在留資格、進学、アルバイト、医療などについて相談を受けることで、安心して日本でより良い生活を送れるよう支援する。</p>				

2018年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談および支援		
	団体名	特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>神奈川県在住、就労など同県と関係の深い在日ミャンマー人を対象として、民族や出自を問わず、問題発生時に電話や面談を通して、ミャンマー語や日本語で生活相談・支援事業を継続し、彼らが安心して自立した暮らしを営めるようになることを目指す。また需要の高い自動車運転免許の切り替えの仕組みを記載したパンフレットをミャンマー語で作成・配布する。</p>				

2018年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥185,000
	事業名	組織の自立を目指した支援者・会員・寄付確保のための広報活動の充実		
	団体名	特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>当団体は設立2年目。組織を自立させ事業の継続実施を可能にするために、団体と事業の広報活動を徹底して行い、支援者の拡大と安定した財政基盤を作り上げる。ウェブサイトの充実、インターネットでの広告、インターネットを通じた資金と会員・ボランティア集め、SNSの活用、ウェブサイトの充実、ニュースレターの発行、団体パンフレットの配布など通じて団体の知名度を高め、共感を集めていく。</p>				

2018年度	事業区分	国内協力	助成額	¥500,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育～観察力・論理的思考力・対話力を高める為に～		
	団体名	特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>外国につながるのある子どもたちを対象に、「絵」を題材にした日本語教育の指導方法や教材の作成を行い、大和市内の小学校及び自主運営の日本語教室で実践することで、子どもたちの思考力に働きかけ、観察力を育て、論理的思考を促し、自分の考えを創造できる場をつくることを目的とする。</p>				

2018年度	事業区分	国内協力	助成額	¥519,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
<p>英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある若者」たちが、来日間もないフィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を中心に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2017年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ラオス人の子どもたちや若い世代へのラオス文化継承と大人への日本での暮らし方を学ぶ機会を提供する事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日ラオス協会		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>在日ラオス人は日本社会の生活の中で、習慣・文化の違いや理解不足などが原因でさまざまな問題を抱えている。例えば、親は、日々働くことに追われ、自身の日本語を学ぶゆとりさえない状態である。他方、子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長している。その自分の子どもたちに、親は母語や母国の文化を伝える余裕は全くなく、親子の間には大きな溝が生じている。親自身は、日本語力が十分でないことから日本の社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。</p>				

2017年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	相談窓口プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法かながわネパール人コミュニティ		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>神奈川県内在住のネパール人自身がネパール人を対象とした相談窓口を開設する。ネパール人が抱える課題—医療、在留資格、アルバイト、結婚手続き、進学、就職などについて相談会を週一回実施することで、平和で豊かな多文化共生の地域社会づくりに貢献することを目指す。また国際文化交流の促進にも効果があると考えられる。相談窓口設置から数か月後に効果を調査することで、今後の活動に活かしていく。</p>				

2017年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談および支援事業		
	団体名	リンク トウ ミャンマー		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>県内の在日ミャンマー人は少数派であり、多数住む外国人が持つような相互互助コミュニティやミャンマー人に特化した支援団体が存在しない。そのため、言葉や文化の違いから日常生活で困難を抱えるミャンマー人が孤立することがある。一方、日本に移住する外国人増加に伴いミャンマー人の増加も予測されている。そこで、県内に住む在日ミャンマー人を対象とした生活相談・支援事業を行い、彼らが安心して自立した暮らしを営めることを目指す。</p>				

2017年度	事業区分	国内協力	助成額	¥700,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育～観察力・論理的思考力・対話力を高める為に～		
	団体名	特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>神奈川県大和市内の小学校を主な拠点として日本語の習得が困難な状況にある「外国につながる子どもたち」を対象に、絵を題材にして子どもたちの観察力を高めることで論理的思考力を引き出し、対話力をつけ、日本語で自信をもって自己表現できるような日本語支援の新たなカリキュラム作り、また、そのためのスタッフ研修を行う。</p>				

2017年度	事業区分	国内協力	助成額	¥323,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある大学生」たちが、来日間もないフィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を中心に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2017年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,217,000
	事業名	アフリカの非電化地域にICT教育機会を創るプロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人Class for Everyone		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
<p>日本でリユースされたパソコン、プロジェクターと、ソーラーパネルを活用して小規模の電源インフラを構築し、タンザニアの非電化地域の学校にICT教育と自然エネルギー電源を創る機会を提供し運用する。</p>				

2016年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人養育者の地域相互扶助グループの立ち上げと事業化		
	団体名	カムオン・シェシェ		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
<p>横浜市瀬谷区において、仲間を助けたい、地域の中で役立ちたいと思う外国人に呼びかけ、通訳・翻訳や同行支援などなどを行い、相互扶助による外国人の地域支え合いグループを立ち上げる。また、当事者同士の関係を強め、次の支援者が生まれる流れをつくり、子育て支援団体と連携しながら地域社会とのつながりを深める。</p>				

2016年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ラオス人の子どもたちや若い世代へのラオス文化継承と大人への日本での暮らし方を学ぶ機会を提供する事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日本ラオス協会		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
<p>在日ラオス人は日本社会で生活する上で、習慣の違いや文化の理解不足などが原因で多くの問題を抱えている。親は日々働くことに追われ、日本語を学ぶゆとりがない。他方、日本で生まれた子供たちは、日本文化を学ぶ学校生活の中で成長し、親が母語や母国の文化を伝えることがなく、親子の間には大きな溝が生じている。そこで、子どもや若い世代が母国語教室や交流を通して文化を学び、大人たちは日本語や日本の暮らし方を勉強することで、問題を少しでも軽減し、解決の機会となることを目的とする。</p>				

2016年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	南米人コミュニティに対するCAC(Creative Art for Communication)ワークショップ 及びリーダー養成のための全6回のトレーニングコース		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
<p>日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで、英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会において、表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。また、県内の地域で活躍できるコミュニティの次世代リーダーを養成するためのトレーニングを行う。</p>				

2016年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活を向上及び明るい日本社会につなぐ事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
<p>カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会、家族行事の開催を行う。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2016年度	事業区分	国内協力	助成額	¥367,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある大学生」たちが、フィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を対象に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。				

2015年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥2,200,000
	事業名	地震の被害を受けた学校のためのラーニングセンターの建設		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2015/11/2 ～ 2016/10/31		
ネパールカブレ郡マンダルトール村の中で、今年4月25日の大地震の被害に遭った学校に対し、校舎が再建されるまでに使用できる2教室からなるラーニングセンターをネパールNGOのSAGUN a serch for harmony（代表者Dr. Mukta Singh Lama）と共同で建設する。				

2015年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥199,500
	事業名	南米人コミュニティに対するCAC(Creative Art for Communication)ワークショップWS		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで、英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会において、表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。				

2015年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEスペイン語の部屋		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
外国につながる子どもは、本当は母語や母国の文化に親しみたいものの自信がなく、人前で母語を話したり、母国について説明したりすることが億劫になっており、中には母語を失いつつある子どもがいる。一方、家庭では経済的・時間的余裕がなく、母語・母国の文化を学ぶ機会をあまり得られない。ことばの発達には母語の力が多いに影響されていることが明らかになっており、子どもたちが自立した社会生活を送ることができるよう地域で支えていくため、母語・母国の文化を学べる機会を提供する。				

2015年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながりを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、「日本語を母語としない人のための公立高校進学ガイドブック学習会」「日本語・教科学習支援者のための一日講座」といった講座を開催し、支援者を育成するとともに、支援者間の連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2015年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活の向上及び明るい日本社会につなぐ事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会、家族行事の開催を行う。				

2015年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	「土曜寺子屋(ドテラ)」学習支援		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。				

2015年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年3月31日		
地域でニーズが高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2015年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料でを行い、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業				

2014年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	「土曜寺子屋(ドテラ)」学習支援		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。平成24年度に立ち上げられ研修と試行、今年度本格的に活動。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥198,000
	事業名	南米人コミュニティに対する表現アートワークショップ		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
<p>英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会で開催される表現アートのワークショップを取り入れた活動。日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。</p>				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活の向上及び明るい日本社会につながる事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
<p>カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会の開催、運動会を行う。</p>				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	マグーアラル (abakada)・タガログ 一言葉と制度のまなびをとおして交流しようー		
	団体名	カワヤン P.W.C		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年4月30日		
<p>フィリピンの教育制度のことを知らない、あるいは最新の情報がわからないフィリピン出身者にフィリピンの教育制度(日本の教育制度との比較を含む)についての情報を提供するとともに、タガログ語やフィリピン文化の学習を通して子どもたちのアイデンティティ形成を支援し、日本人住民みはタガログ語を学ぶ場を提供し、在日フィリピン出身者との交流会などの開催を通じて学習したことを活かし、地域社会の相互交流を促進する。</p>				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながるを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
<p>高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、「日本語を母語としない人のための公立高校進学ガイドブック学習会」「日本語・教科学習支援者のための一日講座」といった講座を開催し、支援者を育成するとともに、その連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。</p>				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEよみきかせの会		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
<p>外国にルーツを持つ子どもたちは、学習になると分からない・知らない語彙や表現がたくさんある。家庭内で母国語を使用しているケースが多いため日本語の語彙を増やすことに困難が生じている。そのため、教科学習(特に読むこと)を億劫に感じる傾向がある。小学生の子どもたちに対して、読むことの楽しさを感じ、自立的に学習に取り組めるよう、また交流が促進されるよう参加型のプログラムを取り入れた読み聞かせの活動を行う。また今回は、読書後の子どもたちの表現活動や読み手の育成にも力を入れる。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥327,000
	事業名	神奈川県における外国籍介護従事者就労定着・支援プロジェクト		
	団体名	学校法人国際学園		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
神奈川県で介護職に就いている定住外国人の就労の安定とEPA介護福祉士を対象とした我が国の介護業務への定着支援事業及びネットワークの構築				

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料でを行い、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業				

2014 年度	事業区分	海外協力	助成額	
	事業名	ブラジル東北部における全日制保育園整備プロジェクト		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
ブラジル国のカノア・ケブラーダ地域では、急激な観光地化による生活の変化に伴い、治安悪化・ストリートチルドレン・虐待・家庭崩壊などが急増した。こうした状況におかれた人々を対象として、子育てに不安を抱える家族のために全日制保育園の実現を目的として、現地にある既存保育園の整備を行う。				

2014 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥380,000
	事業名	ブラジル東北部、カノア・ケブラーダ地域における全日制保育園整備プロジェクト		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
ブラジル東北部のカノア・ケブラーダ地域では、急激な観光地化による生活の変化に伴い、治安悪化・ストリートチルドレン・虐待・家庭崩壊などが急増した。こうした状況におかれた人々を対象として、子育てに不安を抱える家族のために全日制保育園の実現を目的として、現地にある既存保育園の整備を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2013 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥3,326,000
	事業名	フィリピン台風30号被害漁村復興のための住民組織化を基盤とする漁船支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人草の根援助運動		
	実施期間	2014年4月1日 ～ 2014年9月30日		
<p>2013年11月の台風30号により甚大な被害を受けたフィリピン共和国東サマル州の3村において、漁民組織の強化または結成を支援し、漁民の相互扶助を基盤として、漁船供与を中心とした生計回復を実施する。あわせて女性組織の結成を支援し、女性組織のイニシアティブによる生計回復のための支援を実施する。</p>				

2013 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながるを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年6月30日		
<p>高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、日本語・教科学習支援者のための講座を開催し、支援者を育成するとともに、支援者の連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。</p>				

2013 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEよみきかせの会		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
<p>外国にルーツを持つ子どもたちは、学習になると分からない・知らない語彙や表現がたくさんある。家庭内で母国語を使用しているケースが多いため日本語の語彙を増やすことに困難が生じている。そのため、教科学習（特に読むこと）を億劫に感じる傾向がある。小学生の子どもたちに対して、読むことの楽しさを感じ、自立的に学習に取り組めるよう、また交流が促進されるよう参加型のプログラムを取り入れた読み聞かせの活動を行う。</p>				

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥250,000
	事業名	土曜寺子屋(学習支援)		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
<p>外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。</p>				

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
<p>日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料で行き、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2013年度	事業区分	海外協力	助成額	¥382,000
	事業名	チベット難民のチベット医学生と青年への自立支援プロジェクト		
	団体名	チベタン・チルドレンズ・プロジェクト		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年1月31日		
ネパール国で暮らすチベット難民、特にチベット医学を目指す学生と青年たちに第三国で自活していける可能性を具体的に示し、そのスキルを身につける手伝いを目的とする。チベット医学生には日本の鍼灸のスキルを、青年たちには介護やあんまのスキルを、ボンポチベット医学校と共同で行う。				

2012年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,500,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2013年4月1日 ～ 2014年3月31日		
地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2013年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,250,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2014年4月1日 ～ 2014年9月30日		
地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2012年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,325,000
	事業名	イランイスラム共和国の障害者支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2013年4月1日 ～ 2013年12月31日		
障害者の通勤・通学などの外出困難を解消するため、イランの障害者やNGO・行政が一体となって、日本のバリアフリー技術を学び、まちづくりを進められるようイランのバリアフリー化を支援する。さらに障害者が、身体機能を高め、床ずれなどの合併症を防ぐための自己管理法の習得を支援するとともに、ホームケアの支援システムを構築し、イランの障害者の生活の質の向上と、生活の自立を進める。				

2012年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
①「たぶんかリースクールよこはま」における日本語・学習支援事業(継続) ②県立高校15校等への多文化教育コーディネーター・サポーター派遣事業(継続)				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥450,000
	事業名	教育を通じたネパール少数民族のエンパワメント(幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
ネパール カブレパランチョーク郡マンガルタル行政村とカルパチョーク行政村を対象地域とし、高校や村人のグループを中心に、「村人主体の地域づくり」を実施する。今年度は新たに協同組合をテーマにした活動を開始し、ムーブメント領域を広げる。地球の木・SAGUN・村の委員会の三者で行う。				

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,559,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、生活再建ができていない山岳地帯の先住民の人びとを対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。				

2011 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥0
	事業名	「多文化共生センターかわさき」多文化家族支援事業		
	団体名	多文化共生センターかわさき		
	実施期間	2012年4月1日 ～ 2013年3月31日		
2010年9月に設立した「多文化共生センターかわさき」において、 ①包括的な相談業務 ②医療互助会の運営 ③学齢超過者のための「学習サポート教室」 ④③のOB/OGやボランティアとで居場所づくりのために文化発信を行うための「多文化放送局」の開局 などを行う。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥750,000
	事業名	イランイスラム共和国の障害者バリアフリー支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2012年4月 ～ 2012年12月		
イランのバリアフリー化を支援し、障害者の通勤・通学などの外出困難を解消するため、イランの障害当事者や行政が一体となって、日本のバリアフリー技術を学び、町づくりに役立て、イランの障害者の生活の質の向上と、生活の自立を進める。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,494,000
	事業名	ブラジル東北部の貧しい漁村における、青少年を含めた地域住民への地域子育て事業		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
ブラジル国の貧しい漁村地域において、青少年を含めた地域住民を対象として、地域住民自らが地域で子育てを行う環境を整備し、地域における子育ての意識向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2011年度	事業区分	海外協力	助成額	¥480,000
	事業名	教育を通じたネパール少数民族のエンパワメント(幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
ネパール カブレランチョーク郡マンガルタル行政村を対象地域とし、高校を拠点に教育の質の向上と若者の育成を通じて、「村人主体の地域づくり」の意識を育てる。地球の木・SAGUN(現地NGO)・村の委員会の三者で行う。				

2011年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
①「たぶんかリースクールよこはま」における日本語・学習支援事業(継続) ②県立高校15校への多文化教育コーディネーター・サポーター派遣事業(継続)				

2011年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,999,000
	事業名	在日ブラジル人による情報発信、相談対応および自立のための研修事業		
	団体名	特定非営利活動法人 ABCジャパン		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
日本語の理解が十分でなく、災害発生時などに情報弱者に陥りやすい在日ブラジル人に対し、正しい情報を発信し不安を軽減し、また相談対応を通じて自ら自分で情報が収集できるような支援を行い、さらに日本での生活がより自立したものになるような研修事業を企画・実施する。				

2011年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,435,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、復興支援も皆無のため生活再建ができない山岳地帯の先住民族の人々を対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。				

2010年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,884,000
	事業名	「多文化共生センターかわさき」多文化家族支援事業		
	団体名	多文化共生センターかわさき		
	実施期間	2011年4月 ～ 2012年3月		
2010年9月に設立した「多文化共生センターかわさき」において、地域に在住する外国人家族が安心して生活を送るために必要な情報発信、相談対応を行い、特に防災、医療、教育などの分野での支援活動を行う。また、分野ごとに分断するのではなく多文化家族に対するトータルな支援を実現するため、コーディネーターを配置し、活動の裾野を広げるためのサポーターの登用・育成を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2010年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	イランイスラム共和国における障害者支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2011年5月 ～ 2011年12月		
イランイスラム共和国のテヘラン・キャラジ地区において、頸髄・脊髄障害のために外出困難や寝たきりの人々を対象として、生活の自立を図り、生活の質の向上を目的として、NGOテヘランせき損協会(SCIA)と共同で障害者支援を行う。				

2010年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	イランイスラム共和国における障害者支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2011年4月 ～ 2011年12月		
イランイスラム共和国のテヘラン・キャラジ地区において、頸髄・脊髄障害のために外出困難や寝たきりの人々を対象として、生活の自立を図り、生活の質の向上を目的として、NGOテヘランせき損協会(SCIA)と共同で障害者支援を行う。				

2010年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,774,000
	事業名	在日ブラジル人による相談対応および自立のための研修事業		
	団体名	特定非営利活動法人 ABCジャパン		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
経済危機発生後、依然厳しい状況におかれる在日ブラジル人がより安定した生活を送れるように、ブラジル人自らがポルトガル語によるきめ細かい相談対応および情報提供を行う。また自らが情報を収集し、自立した生活を送るための支援を目的とした研修を企画・実施する。				

2010年度	事業区分	海外協力	助成額	¥899,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、復興支援も皆無のため生活再建ができない山岳地帯の先住民族の人々を対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。				

2010年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
中学を母国で卒業した後に来日したり、学齢超過のため中学に行けない或いは夜間中学へ通う15才～18才の子どもたちで高校進学を希望する子ども向けの学習支援教室「たぶんかフリースクールよこはま」を週3回開設し、日本語を中心とした学習と教科学習を行う。また、そうした子どもたちや保護者向けの相談活動や高校との協働・移行支援を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2010 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,170,000
	事業名	AJAPEスペイン語圏教育相談・学習支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
大和市と、町田市を中心とした地域でのスペイン語圏の児童生徒への教育相談・学習支援をバイリンガルで行う。				

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥420,000
	事業名	教育を通じたネパール少数民族のエンパワメント (幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
ネパール カブレパランチョーク郡マンガルタール行政村を対象地域とし、高校を拠点に教育の質の向上と若者の育成を通じて、「村人主体の地域づくり」の意識を育てる。地球の木・SAGUN(現地NGO)・村の委員会の三者で行う。				

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,900,000
	事業名	ブラジル東北部の貧しい漁村における、地域住民への教育支援プロジェクト		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2010年4月1日 ～ 2011年3月31日		
ブラジル国の貧しい漁村地域において、大きな課題を抱えている青少年を中心とした地域住民を対象として、地域住民自らがよりよい教育の場を提供し、生活の向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。				

2009 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥533,000
	事業名	在日スペイン語圏出身者への学習及び継承言語教育支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
町田市民フォーラムを拠点に在日スペイン語圏の人たちに対してバイリンガルでの支援を行う。(子どもへの学習支援、保護者からの教育相談や教師への橋渡し、アイデンティティの涵養を目的とした継承言語教育や南米文化の学習。)				

2009 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,442,000
	事業名	在日ブラジル人によるブラジル人相談・自立支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人ABCジャパン		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
世界的な金融危機の影響で経済的に厳しい状況に置かれる在日ブラジル人がより自立し安定した生活を送れるように、的確な相談対応、情報提供およびオリエンテーションを行なう。また、在日ブラジル人が置かれた状況について当事者の視点から日本社会に発信するため、映像作品の制作やホームページの整備を行なう。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2009年度	事業区分	海外協力	助成額	¥250,000
	事業名	グアテマラ国における自然資源管理のための先住民族組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
<p>今回のプロジェクトでは、自然保護区設定の計画が進むグアテマラ東部イザバル県において、先住民族コミュニティと地域の住民アソシエーションを対象に、住民主体の自然資源管理、自然保護区管理を実現するための組織強化を目指した活動を実施する。</p>				

2008年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,093,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト(3)		
	団体名	(特活)ソルト・パヤタス		
	実施期間	2009年4月1日 ～ 2010年3月31日		
<p>フィリピン国外ロマニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。</p>				

2008年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,544,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援、共生事業(3)		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2009年4月1日 ～ 2010年3月31日		
<p>これまでの取組を継続・発展させ、地域の先輩フィリピン人が、若いフィリピン人が地域で直面する生活課題－子どもの学校や病院、近所づきあいに関する自助・互助の活動の幅を広げ、さらに学校教育とのつながりを強化して、子どもたちを取り巻く学習環境、進路徳章の課題への活動を充実させる。</p>				

2008年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥1,997,000
	事業名	ミャンマー サイクロン被害にあった僧院孤児院における「安全な飲料水確保のための給水プロジェクト」ならびに「子どもたちの寮兼シェルター建設プロジェクト」		
	団体名	(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年3月31日		
<p>大型サイクロン「ナルギス」により壊滅的な被害を受けたミャンマー国ヤンゴン管区タンリエン地区の僧院孤児院245人の子どもたちと周辺住民屋敷1000人を対象に、「安全な飲料水確保のための給水プロジェクト」と「次のサイクロンに耐える子どもたちの寮兼シェルター建設プロジェクト」を実施することで、一刻も早くライフラインを確保し、衛生環境並びに住環境を改善し、人々が安心して生活できる環境を提供する。</p>				

2008年度	事業区分	国内協力	助成額	¥470,000
	事業名	在日スペイン語圏出身者への進学・就学・学習支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年9月30日		
<p>主に神奈川県内の在日スペイン語圏の人たちに対して、スペイン語・日本語のバイリンガルでの進学・就学・学習支援を行う。(保護者や教師への橋渡しや、スペイン語や南米文化・日本語や日本の文化のなかで育つ子どもたちが自分に自信を持つための支援を含む)</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2008年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,959,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業(3)		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年9月30日		
<p>急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。</p>				

2007年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,333,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト(2)		
	団体名	ソルト・パヤタス・ファウンデーション		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
<p>フィリピン国外ロマニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。</p>				

2007年度	事業区分	海外協力	助成額	¥300,000
	事業名	グアテマラ国における自然資源管理のための先住民組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
<p>自然保護区設定計画が進むグアテマラ東部イサバル県において、先住民コミュニティと地域の住民アソシエーションを対象に、住民主体の自然資源管理、自然保護区管理を実現するための組織強化を目指した活動を実施する。</p>				

2007年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,800,000
	事業名	第7回移住労働者と連帯する全国フォーラム・かながわ2008		
	団体名	第7回移住労働者と連帯する全国フォーラム・かながわ2008実行委員会		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2008年12月31日		
<p>外国籍住民人口の増加に伴い、その人権・生活等の支援の必要も益々大きくなっている。このため全国各地で活動するNGOが隔年に全国フォーラムを開いて啓発と情報交流、アドボカシーとネットワークの強化をはかってきた。2008年には、神奈川県でこれを開催する。</p>				

2007年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,691,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援・共生事業(2)		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
<p>地域のフィリピン人の母親を中心に、自助、互助活動をさらに活性化、孤立し、生活課題を多く抱えたフィリピン人との出会いを強化して生活ネットワークを広げると共に、地域社会への参加活動を拡充し、多文化共生社会への創造に寄与する。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2007 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,959,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業(2)		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2007年10月1日 ～ 2008年9月30日		
<p>急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。</p>				

2007 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥2,860,000
	事業名	ソロモン諸島沖地震復興支援事業		
	団体名	(特活)エーピーエスディ(APSD)		
	実施期間	2007年9月1日 ～ 2008年8月31日		
<p>ソロモン諸島沖地震の被災地域であるウェスタン州において、食料自給体制の再構築を目指したワークショップを地域住民対象に実施し、震災後の復興を支援する。</p>				

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,430,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(3)		
	団体名	中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
<p>日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語彙集をつくり、国際教室やボランティア団体と連携を取って、日本語学習を支援する。</p>				

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,160,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援・共生事業		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
<p>子育てを中心とした取り組みを基盤として、在日フィリピン人の地域社会参加のための居場所を確保し、地域生活上の相談、援助と交流、共生の事業を展開し、地域社会への参加と発言を促す。</p>				

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,010,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト		
	団体名	ソルト・パヤタス・ファウンデーション		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
<p>フィリピン国メトロマニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2006年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,255,000
	事業名	在日ブラジル人の意識化運動、リーダーのネットワークづくりと日本社会への発信		
	団体名	(特活)ABCジャパン		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
<p>現実として定住化が進んでいるが、将来への確実な展望を描けていない神奈川及び日本在住のブラジル出身者が、自身の今後・子どもの教育などに積極的に関わることができるように、情報発信・相談活動を行う。また、日本各地に点在するブラジル人のキーパーソンを結びネットワーク化を試み、日本・ブラジルの諸機関と連携した支援活動ができる体制づくりを目指す。さらに、日本とブラジルの過去～現在の深いかかわりについて日本社会に向けて発信し、これからの多文化共生社会づくりにかかわる基礎をつくる。</p>				

2006年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,780,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
<p>急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。</p>				

2006年度	事業区分	海外協力	助成額	¥556,000
	事業名	サンマルコス県高地における農民組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
<p>グアテマラで最も貧しい地域のひとつであり、首都から遠く離れ援助の手が届きにくいサンマルコス県で、地域住民が主体的に組織している地域の農民組織を対象に、農業普及員の問題分析・解決能力の強化を通じて、地域の農業を改善すると共に、地域農業振興のために新規商品の開発などを旨とする。</p>				

2005年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,193,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(2)		
	団体名	(特活)中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日		
<p>日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習言語能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語彙集を作り、国際教室やボランティア団体と連携をとって、日本語学習の支援をする。</p>				

2005年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国籍母子を主な対象としたステップハウスの運営と地域の外国籍県民支援準備事業		
	団体名	共同の家プラン		
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日		
<p>DVなどの人権被害を受けた、主に外国籍の女性や子どもたちが、安心して中期的に滞在できる宿泊場所を提供しながら、施設滞在後に地域社会で自立して新しい生活を築けるように、日常生活支援や法的支援をする。さらに、地域に住む外国籍母子の利用をも想定した子育て支援及びDV被害の防止に向けた環境づくりを行う。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2005 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥196,000
	事業名	イスラエル・パレスチナNGOとの交流と対話～草の根の活動からみえる紛争地の平和・人権・健康～		
	団体名	日本国際ボランティアセンター (JVC)		
	実施期間	2005年10月1日 ～ 2006年5月31日		
<p>人権と保健医療の視点で活動するNGOの関係者を神奈川に招聘し、市民、NGO関係者、学生などが広く参加できる交流と対話の場を設け、平和・人権・人道支援についての理解を深めるとともに、関連する活動の担い手を育む。</p>				

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,980,000
	事業名	日本在住難民への個別支援及び神奈川県内の医療機関との連携による難民医療支援		
	団体名	(特活) 難民支援協会		
	実施期間	2005年4月1日 ～ 2006年3月31日		
<p>神奈川県にある港町診療所との連携により、在留資格などのために十分な医療サービスを受けられない難民への支援を行う。医療以外にも居住、就労、日本語教育などの生活面及び難民認定手続きなどの法的な面についても、聞き取ったニーズに合わせて様々な支援を行う。それらの成果を公表するための報告会や専門家養成のための講座を県内で開催する。</p>				

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥458,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(1)		
	団体名	(特活) 中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2005年4月1日 ～ 2006年3月31日		
<p>神奈川県内の教科学習についていくための日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習言語能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語集を作り、国際教室やボランティア団体に配布する。</p>				

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国籍母子の自立を図るステップハウスの運営		
	団体名	共同の家プラン		
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2005年9月30日		
<p>日本に住み暮らす外国籍女性や子どもたちがDV被害やさまざまな人権被害に遭い、緊急一時避難施設など利用した後、精神的・経済的自立にむけて支援する中期滞在型施設「共同の家プラン」を運営する。</p>				

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥530,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス」		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日		
<p>「日本語を母語としない」子どもや若者、保護者、支援者を対象とした高校進学ガイダンスを実施する。また「高校進学ガイドブック」をニューカマーの青年を中心に作成・翻訳・製本し、中学校や支援団体にも配布する。新たに、「多文化サポーター」制度を設け、ガイダンス前後の支援体制を整備する。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,320,000
	事業名	日本国内に在住する難民への相談業務及び神奈川県内のネットワークを活用した難民へのサービス提供		
	団体名	(特活)難民支援協会		
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日		
日本国内に在住する難民への相談を通じて、法的及び生活自立支援を行う。相談会や神奈川県内のNGO、自治体等との連携を通じて、難民が庇護を求めるための情報にアクセスできるようにし、難民が県内で地域に密着したより適切なサービスを受けられるようにする。				

2003 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	「アガベ交換研修プログラム」25周年記念プロジェクト：実績の調査分析と将来の方向性研究		
	団体名	(社福)日本キリスト教奉仕団		
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年9月30日		
「アガベ交換研修プログラム」25周年を迎え、過去の事業の分析、調査、研究を行う。プロジェクトチームを編成し、アジアの障害者福祉の情報収集、過去の研修生の追跡調査、インタビューを通して、今後最も必要と判断される障害者自立援助の方向性を見極める。				

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	IAPE青少年プロジェクト 南米の若者が調べる・伝える「ニッポンの仕事・学校・社会」		
	団体名	IAPE(外国人児童生徒保護者交流会)		
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年9月30日		
南米出身者が日本における将来について積極的に考える機会を作るため、若者および保護者の教育面での意識向上を目的としたプロジェクトを実施する。				

2002 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥540,000
	事業名	開発教育教材「マジカルバナナ」改訂版制作		
	団体名	(特活)地球の木		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
1998年に出版したマジカルバナナをより幅広い層(小学校中学年程度から)に対応できるように改訂する。				

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥300,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2003年3月31日		
ニューカマーの子供達の高校進学について、入試の方法・学校の選択・学習の方法・資金・入学後の生活などを翻訳資料を用い、通訳を介して相談会を実施する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,050,000
	事業名	日本国内に在住する難民への相談業務および神奈川県内の支援ネットワークの構築		
	団体名	(特活) 難民支援協会		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
避難先である日本において公的な支援が得られず困難に直面している難民に、法律相談と生活自立支援を行う。また、インドシナ難民や外国籍住民への支援実績がある神奈川県内の自治体やNGOとネットワークを構築し、地域から難民保護の発展を促進する。				

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,200,000
	事業名	ルワンダにおける巡回診療による義肢装具製作及び配布		
	団体名	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
ルワンダ国内に住む内戦・疾病・事故などにより上下肢に障害を受けた人々に対し、義肢装具を製作・配布するための巡回診療を行う。				

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額	
	事業名	児童労働削減のためのラジオ放送プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人草の根援助運動		
	実施期間	～		

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥776,000
	事業名	インドシナ難民定住者の自立促進に向けた相談活動		
	団体名	(特活) 神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	2002年10月1日 ～ 2003年9月30日		
インドシナ難民定住者に対し、学校、職場、家庭、事故、身分資格等、日常生活で起こるさまざまな問題について、相談に応じるとともに、法律的な問題を解決するために法律相談会を開く。必要があれば、関係機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。				

2001 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,560,000
	事業名	PTA主体によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
フィリピン・セブ島のスラム地区にあるブサイ小学校において、口腔保健のモデル小学校を目指し、児童を対象に、PTA主体の地域住民参加による、予防中心の口腔衛生の向上を進める。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2001 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥887,000
	事業名	横浜会議一周年記念・国際子ども権利センター設立十周年記念事業『子どもの性虐待対応担い手育成事業』		
	団体名	国際子ども権利センター		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
2001年12月に横浜で実施された「第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議(横浜会議)」のフォローアップ事業として、子どもの性虐待問題に実績のあるアジアのNGO実践家や専門家を招聘し、交換するシンポジウムを神奈川県内で開催する。				

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS(クリアチーフォス)		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
在日ラテン・アメリカ系住民を対象として、ポルトガル語・スペイン語によるサービスの提供を通じて、HIV感染者・AIDS患者及びその家族への精神・心理・社会的支援を行う。また、HIV抗体検査前後のカウンセリング、ポルトガル語・スペイン語によるエイズ電話相談サービスを通して、より多くのラテン・アメリカ系住民が安心して相談やHIVの検査を受けられるような環境を整備する。				

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥780,000
	事業名	インドシナ難民定住者の自立促進に向けた相談活動		
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日		
インドシナ難民定住者に対し、学校、職場、家庭、事故、身分資格等、日常生活で起こるさまざまな問題について相談に応じるとともに、法的な問題を解決するために法律相談会を開く。必要があれば、関係機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。				

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥550,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日		
ニューカマーの子どもたちの高校進学について、入試の方法・学校の選択・学習の方法・資金・入学後の生活などを翻訳資料を用い、通訳を介して相談会を実施する。				

2000 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	第7回日韓合同授業研究会～日韓・東アジアの授業と教育を交流する会		
	団体名	日韓合同授業研究会		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
東アジアの教育の交流と相互理解を図るために、韓国を中心とした東アジアの教員、市民、学生を招き、実際に行われている授業について、報告、検討、交流を行う。また、日本理解のためのフィールドワークを行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2000年度	事業区分	国内協力	助成額	¥450,000
	事業名	在日フィリピン人を対象とした自助グループづくり支援と帰国後の母国社会への再統合をスムーズに行うためのリ・インテグレーション・プログラムの実施		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
<p>日本に在住するフィリピン人の自助グループづくりを支援し、グループで移住労働の経験を分かち合いながら共同貯蓄をし、共同のプロジェクトを進めることにより、移住労働に頼らなくてもよい社会づくりを目指す。</p>				

2000年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,350,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS (クリアチーフォス)		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
<p>在日ラテン・アメリカ系住民を対象として、ポルトガル語・スペイン語によるサービスの提供を通じて、HIV感染者・AIDS患者及びその家族への精神・心理・社会的支援を行う。また、HIV抗体検査前後のカウンセリング、ポルトガル語・スペイン語によるエイズ電話相談サービスを通して、より多くのラテン・アメリカ系住民が安心して相談やHIVの検査を受けられるような環境を整備する。</p>				

2000年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,900,000
	事業名	PTA主体の住民参加によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
<p>フィリピン・セブ島のスラム地区にあるブサイ小学校において、口腔保健のモデル小学校を目指し、児童を対象に、PTA主体の地域住民参加による、予防中心の口腔衛生の向上を進める。</p>				

2000年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,060,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と保護者・教員・市民のコミュニティ作り		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会(IAPE)		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2002年9月30日		
<p>主に横浜市鶴見区に在住する南米出身の日系人児童生徒を対象として、学校内交流会や「沖縄へルーツを探る旅」、母語教室を開催し、アイデンティティ確立の支援を行う。また、保護者・教員を含めたネットワーク作りに協力する。</p>				

2000年度	事業区分	国内協力	助成額	¥630,000
	事業名	移住労働者のための労働法学習会および各国語ホームページ作成事業		
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2001年9月30日		
<p>移住労働者の互助組織作りの一環として、日本の労働法の基礎知識と労働トラブルに遭った場合の解決法とを学ぶ労働法学習会を開催する。</p>				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2000年度	事業区分	海外協力	助成額	¥300,000
	事業名	フィリピン障害者協同組合電算事業部支援活動		
	団体名	(社福)日本キリスト教奉仕団		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2001年3月31日		
同団体で研修を受けた技術者が所属するフィリピン障害者協同組合電算部門に、日本から技術者を派遣し、日本での研修の成果が現地の状況下で活かせるよう技術指導を行うとともに、同部門が事業として成り立つよう、運営方法などソフト面の支援を行う。				

1999年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,045,000
	事業名	多文化・多言語混成団地におけるコミュニティ形成事業		
	団体名	横内プロジェクト		
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2000年12月31日		
多文化・多言語化が進む平塚市横内団地において、子ども教室、生活相談、ミーティング等の活動を続けることにより、多文化共生のコミュニティの実現を目指す。				

1999年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	PTA主体の住民参加によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2003年3月31日		
フィリピン・セブ島のスラム地区の小学校の児童を対象として、PTA主体の住民参加による予防中心の口腔衛生の向上を進め、口腔保健のモデル小学校の実現を目指す。				

1999年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥1,500,000
	事業名	東ティモール緊急支援プロジェクト		
	団体名	シェア＝国際保健協力市民の会		
	実施期間	2000年1月1日 ～ 2000年3月31日		
東ティモール・デリの診療所に医師、助産婦を派遣し、一般診療に当たるとともに、山間地域への巡回診療を行う。また、現地助産婦の訓練への協力、不足している医薬品の寄贈を行う。				

1999年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥122,000
	事業名	体験版サヘルセミナー「身体で学ぶ砂漠化防止手法」の開催		
	団体名	サヘルの会		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
市民による砂漠化防止活動の活性化をねらいとして、乾燥地における植林の手法についての体験型のセミナーを開催する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1999年度	事業区分	国内協力	助成額	¥962,800
	事業名	インドシナ難民定住者の自立に向けた相談活動		
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
県内のインドシナ難民を対象として、日常の生活相談に応じるとともに、法律相談会を実施する。また、必要に応じ、関係各機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。				
1999年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,275,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS(クリアチーフォス)		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
ラテン・アメリカ諸国出身のHIV感染者を対象とした、カウンセリング、通訳、病院や保健所への付添い、自助グループの支援などを行う。				
1999年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,150,000
	事業名	ルワンダにおける義肢装具製作及び技術者育成プロジェクト		
	団体名	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
ルワンダにおいて、内戦、疾病、事故等による障害者に対し、技師装具を製作し提供するとともに、ルワンダ人の義肢装具士を育成する。				
1998年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥220,000
	事業名	滞日外国人を対象とした相談活動の質的向上のためのスタッフ研修およびボランティア養成講座		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年3月31日		
滞日外国人を対象とした相談活動の体制を強化するため、スタッフ間で情報、ノウハウを共有するための会議を開く。また、ボランティアの養成講座を開催する。				
1998年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	国際連帯互助組織作りの一環としての労働法学習会およびミニコミ誌発行事業		
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年3月31日		
移住労働者の互助組織を作ることをねらいとして、労働法の学習会、ミニコミ誌の発行を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥450,000
	事業名	滞日外国人の人権擁護および自立支援に向けた相談活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1999年4月1日	～	2000年4月30日
滞日外国人の人権擁護と自立支援に向けて、電話・来所・出張による相談活動を行う。また、『移住労働者生活マニュアル』の韓国語版を制作する。				

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための緊急避難施設の運営および相談活動		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1998年10月1日	～	1998年9月30日
日本に定住する外国人女性が、人身売買、強制売春、家庭内暴力、性暴力などの被害や家庭内のさまざまな問題を抱えて行き場を失ったときに、緊急に避難するためのシェルターを用意し、法律、医療、福祉などの面での自立のための支援を行う。また、電話と面接により母国語での相談活動を行う。				

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1998年10月1日	～	1999年9月30日
県内に在住する南米出身の日系人児童生徒を対象として、母語保障教室や「沖縄ヘルーツを探る旅」を実施するとともに、外国人児童生徒やその保護者と日本人との地域交流会を開催する。				

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額	
	事業名	リア孤児院職業訓練所の建設プロジェクト		
	団体名	アジア子供教育基金 (ACEF)		
	実施期間	1998年10月1日	～	1999年5月23日
カンボジア・バタンバン州の孤児院で暮らす子どもたちを主な対象として、機械修理、縫製、織物の職業訓練を行うための施設を建設する。将来は、訓練所で製作された品物を日本およびカンボジア国内で販売し、その収益によって訓練所を運営していくことを目指す。				

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥650,000
	事業名	ベトナム語ニュースレター「BAN TIN THAN HUU」の発行		
	団体名	かながわベトナム親善協会		
	実施期間	1998年4月1日	～	1999年3月31日
少数者であるために情報が限られている日本在住のベトナム人を対象にベトナム文化の継承、日本の生活情報の提供を目的にベトナム語のニュースレターを発行し、在住ベトナム人が積極的に社会に参加できるようにする。日本人との情報交換の場になるよう、内容を改善する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,150,000
	事業名	南米系滞日外国人の人権擁護および自立支援に向けた相談活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日		
南米系滞日外国人を対象とした電話・来所・出張相談活動を通じた人権擁護と自立のための支援を行う。				

1997年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥540,000
	事業名	ケニア・ガーナ・日本の三カ国の高校生による技術・文化交流プロジェクト※継続事業		
	団体名	アフリカ・グローバル・リンクプロジェクト神奈川(AGLP神奈川)		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1998年9月30日		
発展途上国で必要とされる小規模発電、水の浄化、ゴミ処理の方法及び資源化、栄養改善をテーマに、ケニア、ガーナ、日本の高校生が研究し、ケニアにおいて互いの研究成果の交換と交流を行う。				

1997年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,370,000
	事業名	ルワンダにおける義肢製作・技術者育成		
	団体名	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日		
首都キガリを拠点に義肢装具を製作するとともに、ルワンダ人義肢装具士を育成する。				

1997年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥375,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための相談室開設及び広報活動の充実		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年9月30日		
緊急避難施設をより安全で充実したものにするために、事務所・相談室を独立させる。また、機関紙の発行や定例勉強会の開催を通じて支援者の拡大と安定した財政基盤作りを図る。				

1997年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための緊急避難施設の運営及び相談活動		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年11月30日		
人身売買、家庭内暴力の被害などにより行き場を失った外国人女性が緊急に避難するための施設を運営し、法律相談、医療、福祉行政への手続き支援を行う。また、出身国別の「生活情報ハンドブック」を作成する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,170,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年9月30日		
横浜市鶴見地区における、沖縄にルーツを持つ南米出身の日系人児童生徒を対象とした母語教室、「沖縄へルーツを探る旅」、日本人との交流事業を実施する。				

1996年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	ケニア、ガーナ、日本の三国の高校生による技術文化交流プロジェクト		
	団体名	アフリカ・グローバル・リンク・プロジェクト神奈川 (AGLP神奈川)		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
発展途上国で必要とされる小規模発電、水の浄化、ゴミ処理等をテーマに、3国の技術高校生が技術開発に取り組み、横浜、海老名等で交流会を開いて、創意工夫を交換すると同時に相互理解を深める。				

1996年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	国際連帯互助組織作りの一環としてのミニコミ誌発行事業		
	団体名	カラバオの会 (寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
ミニコミ誌の発行や労働法の学習会を通じ、横浜市中区寿地区の外国人労働者らが、自らの力でさまざまな問題を解決するためのネットワークを築く。				

1996年度	事業区分	国内協力	助成額	¥620,000
	事業名	「BAN TIN THAN HUU」(ベトナム語の親善ニュースレター)の発行		
	団体名	かながわベトナム親善協会		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
神奈川在住ベトナム人の手でベトナム語のニュースレターを発行し、日本在住ベトナム人が日本社会に積極的に参加する上で必要な情報を提供する。				

1996年度	事業区分	海外協力	助成額	¥404,000
	事業名	PPF奨学生によるスラム・コミュニティでの自立教育活動		
	団体名	パグアーライ・ナン・プソ基金日本事務所 (PPF)		
	実施期間	1997年6月1日 ～ 1998年5月31日		
同会の奨学生とその親を核として行われる聖書講読等の学習会や児童教育、町内美化等のコミュニティ活動を支援する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	滞日外国人女性の生活・緊急・帰国相談業務		
	団体名	かながわ女のスペース“みずら”		
	実施期間	1996年11月1日 ～ 1997年10月31日		
滞日外国人女性の結婚、出産、離婚、労働などの生活全般や、緊急保護、帰国希望に係る相談活動				

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥440,000
	事業名	さをりプロジェクト96		
	団体名	タイ国障害児のための財団横浜連絡事務所		
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1998年4月30日		
日本の福祉施設で広く活用されている手織「さをり織」をタイへ移出して、障害児者のリハビリテーションや社会参加に役立たせるために、インストラクターを派遣し、障害者自身を指導者として養成するとともに材料調達や販路などの開拓を行う。				

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,600,000
	事業名	ルワンダにおける義肢装具製作・技術者育成と障害者に対するリハビリテーション実施		
	団体名	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1997年12月31日		
①ルワンダ国内で義肢装具を製作し、障害者に提供する ②技術者を派遣し、義肢装具製作技術を提供しながら 現地の技術者を育成する ③障害者に対するリハビリテーションの実施と社会復 帰支援 ④ルワンダ国内の障害者どうし及び国外の障害者との 交流の推進				

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥750,000
	事業名	ケニア共和国ナイロビ周辺における高校生技術文化交流プロジェクト		
	団体名	AGLP学校ネットワーク日本・神奈川グループ		
	実施期間	1996年3月1日 ～ 1996年9月30日		
ケニア、ガーナ、日本の三国の技術高校生による学習交流。昨年のガーナに続き、今回は、ケニアで必要とされている、小規模発電や水の浄化などのテーマに、技術高校生のレベルで可能な、手軽に導入できる実用的な技術の開発に取り組む。神奈川県内の4校が参加する。				

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1996年4月1日 ～ 1997年3月31日		
横浜市鶴見区潮田地区における、沖縄にルーツを持つ南米出身の日系人児童生徒を対象とした母語教育や、夏の「沖縄へルーツを探る旅」の実施、ならびにこの地区に住む外国人児童生徒保護者等と日本人との交流事業。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	神奈川県内における移住労働者の自立及び相互扶助に向けた教育活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1996年4月1日 ～ 1997年9月30日		
滞日フィリピン人女性らによるグループ学習、相互扶助活動。香港のアジア移住労働者センターの例に学びつつ、移住労働者の組織化、意識改革を通じて、「出稼ぎ」の根本原因となった自国の貧困問題を解決するための方法を探る。				

1995年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	スタッフの専門性と相談体制の充実プロジェクト		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1996年11月30日		
①ボランティア養成のための研修会 ②スタッフの専門性を高めるためのスキルアップ講座 ③ケースワーカーのためのカウンセリング				

1995年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥200,000
	事業名	児童、生徒、及び一般市民を対象とした国際理解教育		
	団体名	国際理解教育研究会		
	実施期間	1996年1月 ～ 1996年12月31日		
おもに小中学生を対象として、外国人と日本人ボランティアがペアで行う、国際理解教育プログラムの出前。ゲスト(外国人)の国の挨拶、自然、文化、ゲームなどを紹介する。				

1995年度	事業区分	国内協力	助成額	¥600,000
	事業名	日本で生活する外国人女性の相談・シェルター活動、及び情報提供・啓発プロジェクト		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1996年11月30日		
滞日外国人女性の離婚や子供の国籍・認知等に係わる法律相談				

1995年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	滞日外国人女性の生活・緊急・帰国相談業務		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1995年11月1日 ～ 1996年10月31日		
滞日外国人女性の結婚、出産、離婚、労働などの生活全般、及び緊急保護、帰国希望に係る相談を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥500,000
	事業名	フィリピン共和国・都市スラム地域における奨学金プロジェクト		
	団体名	パグアーライ・ナン・プソ基金日本事務所		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1997年5月30日		
フィリピンのスラムの大学生、高校生、職業訓練校生への学資援助に係る、奨学生、親、コミュニティを対象としたセミナー等の開催				

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥240,000
	事業名	在留外国人の医療支援をするための専門性を高める研修等活動充実事業		
	団体名	エスペランサの会(在留外国人の医療問題を考える市民の会)		
	実施期間	1995年10月1日 ～ 1996年3月31日		
在住外国人を対象とした医療相談活動のためのスタッフのスペイン語研修、相談施設の維持運営等				

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥531,500
	事業名	在留外国人への医療相談、通訳派遣等の支援事業		
	団体名	エスペランサの会(在留外国人の医療問題を考える市民の会)		
	実施期間	1995年10月1日 ～ 1996年3月31日		
在留外国人の医療支援のための通訳、医師による医療相談、電話相談など				

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥600,000
	事業名	カンボジア難民による伝統文化と母国語の継承プロジェクト		
	団体名	在日カンボジア難民協会		
	実施期間	1995年7月1日 ～ 1996年3月31日		
主に県内のカンボジア難民を対象とした母国語教室ならびに民族舞踊の教室の運営				

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,800,000
	事業名	ソン・ボン村小学校建設プロジェクト		
	団体名	カンボジア教育支援基金		
	実施期間	1995年7月1日 ～ 1995年11月30日		
カンボジアの農村における小学校の建設				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥5,000,000
	事業名	阪神大震災外国人被災者緊急支援活動		
	団体名	阪神大震災外国人被災者支援プロジェクトかながわ		
	実施期間	1995年2月5日	～	1996年3月31日
阪神大震災での外国人被災者を対象とした生活支援・相談活動、外国人支援活動の担い手育成、外国人の被災状況の調査及び報告書の作成				

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥335,000
	事業名	タイの障害者を対象とした「さをり織り」の技術指導		
	団体名	タイの障害児のための財団横浜連絡事務所(FHCY)		
	実施期間	1994年12月	～	1995年6月
タイの障害児が通うデイケアセンターに「さをり織り」の織り機と技術指導を提供し、子どもたちの訓練向上と、障害児の自己表現や能力の開発に対する親や社会の理解を深める。タイの障害者を対象とした「さおり織り」の技術指導等。				

1994 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	AIDSメモリアルキルト 1994 インターナショナル・ディスプレイ/横浜		
	団体名	メモリアル・キルト・ジャパン インターナショナル・ディスプレイ部会		
	実施期間	1994年6月1日	～	1994年8月31日
AIDSメモリアルキルト(AIDSによる死亡者の記録)の展示と、海外の活動家らを招いての情報交換、ネットワークの形成。第10回国際エイズ会議へ向けての市民の手によるプレ・イベントでもある。				

1994 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	滞日外国人女性の相談活動の専門性を高めるプログラム		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1994年9月1日	～	1995年8月25日
滞日外国人女性をめぐるトラブルの急増と多様化に対応するために、法律、諸制度にかかわる最新の専門知識を相談員が学ぶための研修会を実施する等、組織力の強化を図る。				

1994 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,124,710
	事業名	滞日外国人女性の生活相談、緊急保護、帰国支援		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1994年9月1日	～	1995年8月25日
日本国内で売春を強要されるなど、困難に直面している外国人女性の保護、帰国援助。滞日外国人女性の結婚・離婚、出産、職場のトラブル等の生活相談。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1993 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,900,000
	事業名	開発教育ビデオ作品「希望への使者」その製作と啓発活動		
	団体名	市民グループ・地球家族の会		
	実施期間	1994年4月1日 ～ 1995年3月		
ノーベル平和賞受賞者リゴベルタ・メンチュウ女史が来日した際の映像記録をビデオ教材としてまとめ、それを利用した人権擁護のための啓発活動を行う。				

1993 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,923,000
	事業名	カンボジア王国への教材援助として「書き方ノート」を送るプロジェクト		
	団体名	東南アジア文化支援プロジェクト		
	実施期間	1994年5月1日 ～ 1994年9月30日		
カンボジアの識字教育のため、「書き方ノート」を作成(増刷)し、現地の幼稚園、小学校、孤児院、寺院、NGOの成人識字教室等に配布する。				

1993 年度	事業区分	海外協力	助成額	
	事業名	南アフリカ共和国における教育援助プロジェクト		
	団体名	南ア黒人の教育を支える会		
	実施期間	1994年4月1日 ～ 1995年3月31日		
南アの黒人の子供たちに対する学資の援助、及び学校・教育施設に対する教材等の援助を行う。				

1993 年度	事業区分	国内協力	助成額	
	事業名	留学生、研修生に対する「ブラッシュアップ日本語講座」		
	団体名	鶴見国際交流の会		
	実施期間	1994年2月5日 ～ 1995年1月		
学生、研修生に、実践的な日本語会話を学ぶ機会を提供する。				

1993 年度	事業区分	国内協力	助成額	
	事業名	中南米諸国日系人に対するサービス活動(新教材の開発)		
	団体名	MOA神奈川国際ブランチ友の会		
	実施期間	1994年4月25日 ～ 1995年4月24日		
日系人等が日本語を学ぶためのスペイン語及びポルトガル語による日本語学習教材(テキスト)を開発する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1993 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	定住ビザで来日した日系人等の生活、国際交流、その他の援助救済事業	
	団体名	カトラ	
	実施期間	1994年4月1日	～ 1995年3月31日
<p>在日日系人を対象として、日常生活、就労、健康問題等に関する電話相談を行う(過去の実績＝1日平均20件)。また、問題解決のため、現地まで出向いての通訳、援助も行う。</p>			

1993 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	定住ビザで来日した日系人等の生活、国際交流、その他の援助救済事業	
	団体名	カトラ	
	実施期間	1994年4月1日	～ 1995年3月31日
<p>在日日系人を対象として、日常生活、就労、健康問題等に関する電話相談を行う(過去の実績＝1日平均20件)。また、問題解決のため、現地まで出向いての通訳、援助も行う。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	フィリピン、ラオス両国の貧困農村地域における教育援助プロジェクト	
	団体名	JAPAN APEX & SUMMIT CLUB	
	実施期間	1994年7月1日	～ 1994年10月31日
<p>フィリピンの貧しい農村の学校に日本の学校で使われなくなった中古のオルガンを寄贈する。また、ラオスの学校を訪問し、電子楽器を贈るなどして協力の糸口をつくる。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	タイ農村における収入向上による自立促進事業	
	団体名	日本民際交流センター	
	実施期間	1994年9月	～ 1995年6月
<p>タイ東北部の農村において、ハンディクラフトによる現金収入を上げるため、村人を対象にしたデザイン等の指導、日本における販売協力を行う。将来的には、製品の品質の向上と、タイ国内での市場と販売ルートの確保を目指す。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ラオス人民民主共和国ポーンケン村小学校設立援助プロジェクト	
	団体名	LAO EDUCATION & CULTURAL ACTIVITIES	
	実施期間	1994年6月1日	～ 1995年3月31日
<p>神奈川在住のラオス人定住難民が中心となって、出身地のポーンケン村に小学校を建設する。戦火の傷跡が深く残る自分達の祖国に対して、復興の礎である教育を、次の世代に提供する環境を整えることが、日本で暮らすラオス人の責任と考える。学校建設の後は、現地教員の育成、子供達への奨学金制度の設立などを構想中。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1994 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	シンポジウム「21世紀アジアのかたち」	
	団体名	アジア新世代協力会議	
	実施期間	1994年10月15日	～ 1994年11月12日
<p>アジア各国の歴史教科書を題材として、歴史認識の違いについて学ぶとともに、各国の新世代どうしが、アジアが抱える諸問題について、本音による徹底討論を行い、相互理解を深める。又、そのような「対話」の重要性を広く世間にアピールし、特に若い世代の賛同者を増やす。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	来日を希望する中国人を対象とした啓発事業	
	団体名	Yokohama Education Society	
	実施期間	1994年9月15日	～ 1995年9月14日
<p>出稼ぎ等の目的で来日しようとする中国人を対象として、北京で日本事情を説明する講演会を開く。また、来日した中国人を対象として、県内で日本語教室、相談コーナーを設ける。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	途上国援助のための現地調査	
	団体名	草の根援助運動	
	実施期間	1994年11月	～ 1994年12月
<p>アジアの未来はアジアの人びとがつくる。現地のNGOの自主性を尊重し、その可能性を信じ、小規模の無償援助を行う、そのためのモニターと評価を実施する。途上国援助のための現地調査</p>			

1994 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	第三世界の民衆の自立・自助の精神の基づく持続可能な開発に対する資金援助	
	団体名	草の根援助運動	
	実施期間	1995年1月	～ 1995年2月
<p>アジアのNGOに草の根、小規模の無償援助を行うが、同時にアジアの人びとの現状を日本の市民に伝え、理解を深めようとする開発教育も行っている。義理チョコで無駄に消費されるチョコレートのかわりにバレンタインカードを作成し、支援金を生み出している。このキャンペーンをさらに進めて行くための活動費。</p>			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	南アフリカ・東ケープ州における生活改善普及員養成プロジェクト	
	団体名	日本国際ボランティアセンター	
	実施期間	1995年3月1日	～ 1996年2月29日
<p>南アフリカの農村において、住民達が自ら主体的に問題を解決し、生活向上に取り組めるための地域開発援助</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	フィリピンの都市貧困者居住地域における奨学金プログラム	
	団体名	PPF (パグアーライ・ナンプソ基金)	
	実施期間	1994年12月1日	～ 1996年5月30日
フィリピンの貧しい子供達を対象とした奨学金プログラム			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア・プロモルプロム高等学校建設援助プロジェクト	
	団体名	カンボジア教育支援基金	
	実施期間	1995年2月20日	～ 1995年5月25日
カンボジアに高等学校を建設する。これまでも、同地域に小学校、中学校を建てた実績あり。学校は政府に寄贈され、その後の運営は政府に任される。			

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	タイ東北地方の農村におけるハンディクラフトによる収入向上事業	
	団体名	日本民際交流センター	
	実施期間	1995年1月1日	～ 1995年12月31日
タイ農村のオルタナティブ・トレード(再申請)。地元NGOが行っている事業の分析と反省に基づき、市場をにらんだよりレベルの高い生産、流通の実現を目指す。			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	来日を希望する中国人を対象とした啓発活動	
	団体名	インターナショナル・エデュケーション・ソサエティー (IES)	
	実施期間	1995年9月15日	～ 1996年9月14日
来日を希望している中国人を対象として、北京で3～4回の講演会を開き、日本での生活のために必要な情報を伝える			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	タイ国カンタベリー地域における農業復興援助プロジェクト	
	団体名	泰国・神奈川義援協会(アノン)	
	実施期間	1995年8月	～ 1998年8月
山林を伐り開いて果実園を作り、農業技術の指導を行うとともに、現地の水上生活者の収入向上を実現させる。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ジャカ村教育・生活環境改善援助プロジェクト	
	団体名	アイウエオ・サークル(ネパールの子供に学校をプレゼントする会)	
	実施期間	1995年9月13日	～ 1995年12月12日
ネパールの農業指導者、教育従事者計5名を招き、日本でホームステイをしながら、その技術を学んでもらう。			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	アジア太平洋の途上国において地域安全保障問題にとりくむ草の根リーダーを養成するプロジェクト	
	団体名	太平洋軍備撤廃運動(PCDS)	
	実施期間	1995年10月1日	～ 1996年9月30日
地域安全保障問題に取り組むアジアのリーダーを養成するため、タイでニューズレターの発行、リーダー養成セミナーの実施、市民によるラウンド・テーブルの開催などを行う			

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	ガーナ共和国アクラ周辺における高校生の技術文化交流プロジェクト	
	団体名	AGLP学校ネットワーク日本神奈川グループ	
	実施期間	1995年6月	～ 1995年9月
ガーナにおける栄養事情等の問題に、現地と日本双方の高校生が研究テーマとして取り組み、互いの成果を発表し、技術交流を行う			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	中国遼寧省の僻地の学校建設と子供たちへの就学援助プロジェクト	
	団体名	WE LOVE ASIA 21	
	実施期間	1995年11月	～ 1996年10月
チャリティ・コンサートの収益を中国の「希望工程」に寄付し、遼寧省の貧しい村の小学校を建て直す。また、同じく希望工程を通じて、奨学金支援(学用品等の現物支給)を行う。			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルワンダ アマホロ(平和)プロジェクト	
	団体名	ピース・ウエーブ	
	実施期間	1995年12月	～ 1996年12月
ルワンダの孤児院を再建し、内戦による孤児に最低限の安全と教育を与えるとともに、ルワンダと日本との音楽を媒介とした交流を実現する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	女が変われば社会が変わる！ 女たちの21世紀を考える国際シンポジウム	
	団体名	女と男が平等に働くための制度改革を進める会	
	実施期間	1996年1月27日 ～ 1996年1月28日	
スウェーデンの労働運動のリーダー、ニュージーランドのフェミニズム経済論を展開する女性経済学者を招き、「男女参画社会」の実現について考えるシンポジウムを開く			

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	未定	
	団体名	バイオ・マス・キャラバン	
	実施期間	～	
ネパールのバイオ・ガス技術者を招き、日本の農業技術者等を対象とした研修会を開く			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ガーナ共和国・ペキ地区における女性のための職業訓練プロジェクト	
	団体名	日本ハンガー・プロジェクト	
	実施期間	1996年6月15日 ～ 1998年6月15日	
貧困、飢餓の撲滅のためには、女性の自立と収入向上が不可欠であるとの認識に立ち、現地協力団体(SEHUF)が運営する施設において、ガーナとその周辺諸国から年間約200名の女性を集め、識字教育から職業訓練までを無料(卒業後に返済)で行い、卒業と同時に就職できるようにする。			

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	リーダー層の専門性と語りべ技術のレベルアッププログラム	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1996年4月1日 ～ 1997年3月31日	
主婦と子ども達を主な対象とした開発教育活動を地域で展開していくために、「語りべ」としてのリーダーの研修を行う。バナナやエビなどの身近な食物を糸口として、途上国の現状と日本の関係について伝えるためのさまざまな手法、技術を学ぶ。			

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジアの「女性自立センター」運営事業	
	団体名	東南アジア文化支援プロジェクト	
	実施期間	1996年12月1日 ～ 1997年11月31日	
プノンペン郊外の母子貧困家庭を中心として、識字教育・衛生管理・職業訓練を行い、教育・健康・家庭環境の向上と女性の自立を図り、もって地域の女性の社会適地位と生活環境の向上に資する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルワンダにおける障害者施設の建設	
	団体名	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト	
	実施期間	1998年1月1日 ～ 1999年8月31日	
首都キガリ近郊に、義肢装具制作所、患者のための宿泊施設、障害者がスポーツを楽しむグラウンドから成る障害者のための施設を建設する。			

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ラオス・ファイホン村図書館建設支援プロジェクト	
	団体名	JAPAN APEX CLUB	
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1997年3月31日	
ラオスのファイホン村に図書館兼幼稚園を建設し、同村の教育施設環境を改善するとともに、ラオス農山村のモデルとして先進的役割をつとめる環境づくりに寄与する。			

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	湘南地域の生活情報のラジオによる多言語放送	
	団体名	インタナショナル・ナパサ	
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1997年9月30日	
湘南地域のコミュニティ放送を通して、地域在住の外国籍の人とともに、日本語の不自由な人たちに向けて身のまわりの生活情報などを提供する。			

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	「BAN TIN THAN HUU」(ベトナム語の親善ニュースレター)発行	
	団体名	かながわベトナム親善協会	
	実施期間	1996年8月1日 ～ 1997年7月31日	
日本在住ベトナム人や日本人との情報交換、ベトナム文化の伝承や日本人を対象としたベトナム文化の紹介、定住者を対象とした日本文化の学習などを行い、在日ベトナム人が日本社会に積極的に参加できるよう、ベトナム語のニュースレターを発行する。			

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	国際連帯互助組織事業プロジェクト	
	団体名	カラバオの会	
	実施期間	1996年12月20日 ～ 1997年9月30日	
①移住労働者の送り出し国の実態調査 ②国内の移住労働者の逮捕、事故等緊急時における支 援			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1996年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	料理教本「楽しい食卓」の発行	
	団体名	グルポ・ヒラソル	
	実施期間	1996年11月1日 ～ 1997年1月31日	
<p>在日外国人が、日本で簡単に入手できる食材を利用して料理が作れるよう、日・英・西の3ヶ国語による料理教本を発行し、「食」を通じて国際交流、親善を図る。</p>			

1996年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	湘南地域の生活情報のラジオによる多言語放送に必要な機材の購入	
	団体名	インタナショナル・ナバサ	
	実施期間	1996年8月10日 ～ 1996年8月10日	
<p>FM湘南ナバサの多言語放送を続けるために必要な録音機などの機材を購入する。</p>			

1996年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	カンボジア洪水被災者救援プロジェクト	
	団体名	神奈川JVCフレンズ	
	実施期間	1997年1月 ～ 1997年10月	
<p>大規模な洪水にみまわれ農作物が大きな被害を被ったカンボジアの農村に、来年の種籾等を援助するとともに、スタッフを現地に派遣して緊急援助活動のモニタリングを行う</p>			

1996年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジアの影絵芝居復興支援プロジェクト	
	団体名	(財)現代人形劇センター	
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日	
<p>カンボジアの伝統的な影絵芝居(人形劇)のグループを日本へ招き、公演をきっかけとして担い手の活動を活性化させることにより、内戦で疲弊した文化の継承を支援する</p>			

1996年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	苗族の村に小学校(農業改良指導施設併設)を建設支援プロジェクト	
	団体名	苗族の村に希望小学校をプレゼントする会	
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1997年12月31日	
<p>貧困に苦しむマヤオ族の村に小学校と農業の改良指導のための集会場を建設する。また、同会会員による音楽と体育の授業、専門家による健康診断なども行う</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ケニアの孤児院支援プロジェクト	
	団体名	アルディ・ナ・ウペポ	
	実施期間	1997年4月 ～	
ケニアの孤児院において、子どもたちの栄養状態改善のために給食を実施する			

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会	
	実施期間	1997年4月 ～	
定住インドシナ難民を対象とした法律相談活動			

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会	
	実施期間	1997年4月 ～	
滞日フィリピン人女性らによるグループ学習、相互扶助活動。移住労働者の組織化、意識改革を通じて、「出稼ぎ」の根本原因となった自国の貧困問題を解決するための方法を探る。			

1996 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	開発教育教材「マジカルバナナ」(仮称)の開発、制作	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日	
フェア・トレード事業に取り組んでいるNGO等の協力を得ながら、バナナという身近な食物を題材に、途上国の現状と日本の関係について学ぶための教材を作成する。			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ラオスの女性のための職業訓練所の設立と専門家派遣	
	団体名	ラオスの子どもと女性を支える会	
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年3月31日	
ラオスの農村の女性が伝統の機織りの技術を生かして自立できるよう、ビエンチャン市郊外ドンデン村に職業訓練所を設立し、デザイン、縫製その他の専門家を日本から派遣して技術指導を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジアにおけるトイレ設置による環境保全活動	
	団体名	HAB21イルカ研究会	
	実施期間	1997年10月1日	～ 1998年3月10日
水がなくトイレが不足しているクラチェ村、ストウトレン村に微生物が有機物を分解する水の必要のないバイオトイレを設置する。			

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	児童、生徒、及び一般市民を対象とした国際理解教育	
	団体名	国際理解教育研究会	
	実施期間	1996年1月	～ 1996年12月
おもに小中学生を対象として、外国人と日本人ボランティアがペアで行う、国際理解教育プログラムの出前。ゲスト(外国人)の国の挨拶、自然、文化、ゲームなどを紹介する。			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ジャカ村教育・生活環境改善援助プロジェクト	
	団体名	アイウエオ・サークル(ネパールの子供に学校をプレゼントする会)	
	実施期間	1995年9月30日	～ 1995年12月30日
ネパールの農業指導者、教育従事者計5名を招き、日本でホームステイをしながら、その技術を学んでもらう。			

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	未定	
	団体名	ハンガー・プロジェクト	
	実施期間	～	

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	日本国際ボランティアセンター	
	実施期間	～	
南アフリカ農村開発のための調査活動			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	日本民際交流センター	
	実施期間	～	
タイ東北部の農村における収入向上事業			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア・シェムリアップ地域における伝統工芸復興支援プロジェクト	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1995年10月 ～ 1997年3月	
カンボジアで、竹細工、織物、拓本、石細工などの伝統工芸品の制作を行っている女性グループの技術の向上のための研修会と、日本での販路拡大に取り組む			

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	日本で生活する外国人女性の相談・シェルター活動、及び情報提供・啓発プロジェクト	
	団体名	女性の家“サーラー”	
	実施期間	1995年12月 ～ 1996年11月	
①滞日外国人女性の生活相談、シェルター運営。 ②当事者及び市民に向けた情報提供のためのパンフレット、英語版ニュースレターの作成。 ③活動報告、相談ケースに即したQ&A等を盛り込んだブックレットの作成。			

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	スタッフの専門性と相談体制の充実プロジェクト	
	団体名	女性の家“サーラー”	
	実施期間	1995年12月 ～ 1996年11月	
①ボランティア要請のための研修会 ②スタッフの専門性を高めるためのスキルアップ講座 ③ケースワーカーのためのカウンセリング			

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	未定	
	団体名	カンボジア交流協会	
	実施期間	～	
カンボジア語の情報誌発行のためのワープロの購入			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	中国江蘇省鎮江市における日本語教育プロジェクト	
	団体名	湘南国際交流会	
	実施期間	～	
日本語教師を派遣し、中国経済の発展や、国際交流を担う人材を育てる			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	東南アジア文化支援プロジェクト	
	実施期間	1995年11月1日	～ 1995年12月31日
美容師養成のために、カンボジアに専門家を派遣する			

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	滞日外国人女性の生活相談、緊急支援、帰国支援	
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”	
	実施期間	1995年11月1日	～ 1996年10月31日
滞日外国人女性の結婚、出産、離婚、労働などの暮らしの相談、国内での諸手続き、裁判などのサポートや緊急保護、帰国援助を行う。			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	未定	
	団体名	タイ国障害児のための財団横浜連絡事務所	
	実施期間	～	
さをり織りの地域展開(普及)事業			

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア王国への教材援助として「カンボジアの古代歴史教科書」を送るプロジェクト	
	団体名	東南アジア文化支援プロジェクト	
	実施期間	1995年11月	～ 1995年12月
インフラ整備優先の復興政策が進められているカンボジアで、遅れている教育分野への援助として古代史の教科書を出版し、大学、図書館で利用、閲覧できるようにすることで、クメール文化に対する正しい認識と文化的アイデンティティ(誇り)を培う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティー確立の支援と外国人と日本人の地域交流会	
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会	
	実施期間	1996年4月1日	～ 1997年3月31日
<p>在日韓国・朝鮮人、沖縄出身者、外国人労働者とその家族が集住する横浜市鶴見区潮田地区において、南米から来た子ども達を対象とした母語教育などを行う。夏には「沖縄ヘルツを探る旅」(第3回)も実施し、子ども達がアイデンティティーを獲得できるよう、支援を行う。</p>			

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア洪水被災者復興支援プロジェクト	
	団体名	神奈川JVCフレンズ	
	実施期間	1997年4月	～ 1997年10月
<p>大規模な洪水にみまわれ農作物が大きな被害を被ったカンボジアの農村に、来年の種籾等を援助するとともに、スタッフを現地に派遣して援助活動のモニタリングを行う</p>			

1997 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	開発教育教材「マジカルバナナ」(仮称)の開発、制作	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1997年10月1日	～ 1998年6月30日
<p>消費者として関わっているフェア・トレードとバナナを題材に、もう一度原点に戻って途上国の現状と日本の関係について学ぶための教材を作成し、地域での開発教育活動を進める。</p>			

1997 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	第7回アジア子ども交流大会	
	団体名	国際交流は子どもの時から・アジアの会	
	実施期間	1998年7月20日	～ 1998年7月31日
<p>台湾、中国、韓国、ロシア、サハリンから孤児と障害児を含む小学生45名、各グループの引率者(小学校の20歳代の女性教師)5名を神奈川県に無料で招待し、ホームステイや交流キャンプを行う。</p>			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	エコ・ツアーの実施と報告書の作成、報告会の開催	
	団体名	アジア環境プロジェクト	
	実施期間	1998年4月1日	～ 1999年3月30日
<p>観光という視点から開発途上国の地域住民の発展と自立を促進するエコツアーを実施し、報告書の作成と報告会の開催をする。またエコツアーのプログラムの中で、現地住民を中心としたプロジェクトに協力する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	ヨコハマハギハッキョの開催	
	団体名	ヨコハマハギハッキョ実行委員会	
	実施期間	～	
* 辞退			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	日比混血児の父親さがしほか支援プロジェクト	
	団体名	臯会	
	実施期間	～	
* 辞退			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ミンダナオ先住民族コミュニティ自立支援プロジェクト	
	団体名	ビラーンの医療と自立を支える会 (HANDS)	
	実施期間	1998年4月1日	～ 1999年3月31日
フィリピンの先住民族の一つビラーン族が民族のアイデンティティを保持しながら経済的に自立できるよう、村落において簡易水道施設の建設および山羊、羊の繁殖、飼育事業を実施し、住民の劣悪な衛生環境、栄養状態の改善を図ると共に、現金収入の増加を目指す。			

1997 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	「食糧援助を通じての国際協力を考える」プロジェクト	
	団体名	横浜WFP応援団	
	実施期間	1998年4月1日	～ 1998年12月31日
国際連合世界食糧計画(WFP)の活動を紹介するWFPパネル展、「食」をテーマとした世界の子どもの絵画展、民族楽器のワークショップ等を開催し、来場者に配布するリーフレットを作成する。			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパールの女性の識字教室の運営支援	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	～	
* 辞退			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	子どもの国際理解のためのオーストラリア・スタディツアー実施	
	団体名	上永谷国際交流の会	
	実施期間	～	
* 辞退			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルワンダの女性・農民の収入向上支援プロジェクト	
	団体名	アフリカ平和再建委員会 (ARC)	
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日	
ルワンダ共和国の女性・農民の収入向上を図るために、現地NGOと協力し、彼らのイニシアティブに基づき、現在不足しているミシン、養蜂の巣箱を購入し、洋裁学校の卒業生へのミシン貸与、農村の養蜂家への巣箱の寄贈を行い、指導・助言を行っていく。			

1997 年度	事業区分		助成額
	事業名		
	団体名	プルトニウムフリー・コミュニケーション神奈川	
	実施期間	～	
* 辞退			

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	KADVO・マヒドン大学共同バンコク・クロントスラム無料歯科診療活動	
	団体名	神奈川歯科大学同窓会歯科医療団 (KADVO)	
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1998年11月30日	
フィリピンにおいて無料歯科診療を15年間行ってきた経験を元に、同様の活動をタイ・バンコクのスラムで行う。日本人歯科医師40名、マヒドン大学歯科医師15名、現地ボランティア40名にて、対象患者500名につき、歯科診療、予防教育、疫学調査、アフターケアを施す。			

1997 年度	事業区分	国際協力	助成額
	事業名	複数の日本語支援グループで日本語教育教材の作成	
	団体名	茅ヶ崎日本語の会	
	実施期間	～	
* 辞退			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997年度	事業区分		助成額
	事業名		
	団体名	アガペ身体障害者作業センター	
	実施期間	～	
*辞退			

1997年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	国際人権擁護活動及び国際人口擁護・支援活動としてのにほんご教室、ホームステイ支援等	
	団体名	AECC	
	実施期間	1998年4月1日	～ 1999年3月31日
日本語教室を運営し、その外国人生徒等による米会話、中国語、ポルトガル語教室も開催する。			

1997年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	ちいさな地球計画	
	団体名	地球市民の会かながわ	
	実施期間	1998年7月19日	～ 1998年7月20日
神奈川県在住の様々な国の外国人留学生10名程度を1泊2日のホームステイに受け入れ、各家庭での交流を中心に、留学生に日本の文化に触れてもらう。			

1997年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	バングラデシュの学校増強支援プロジェクト	
	団体名	エスナック教育里親グループ	
	実施期間	1998年4月1日	～ 1998年12月31日
バングラデシュのALHAJ M. NAZER PRIMARY SCHOOL が、もっと大勢の低所得階級の児童を収容できるよう、教室増築、床・天井補強、飲料水設備、電気設備、トイレ、机・椅子等什器類の増強、拡充を行う。			

1997年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	1998年度・飢饉による餓死対策緊急食糧援助事業	
	団体名	日本ブルキナファソ友好協会	
	実施期間	1998年5月20日	～ 1998年8月20日
1997年度サヘル地帯を襲った干ばつによる食糧不足で大量の餓死者が出る前に、ダガラ族エリア11村落を対象に、食糧援助により人命を救済する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1998年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	南インドにおける義肢・自助具製作指導、技術者育成ワークショップ	
	団体名	(社福)日本キリスト教奉仕団アガペ身体障害者作業センター	
	実施期間	1998年10月1日	～ 1999年3月31日
同センターが1980年から実施しているアジアからの研修生受入れプログラムを修了したもと研修生とともに、インド南部、タミルナドゥ地方の2ヶ所で、現地の技術者、病院・福祉施設職員、障害者の家族らを対象として、義肢、自助具の製作指導を行う。			

1998年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	報告書『共に生きる』および広報『アガペ』による啓蒙活動充実	
	団体名	(社福)日本キリスト教奉仕団アガペ身体障害者作業センター	
	実施期間	1998年10月1日	～ 1999年3月31日
同センターが、アジアの障害者福祉に関わる人材の育成を目的として行っている研修生の受入れや現地(海外)でのワークショップの様子を広く一般に紹介し、支援の基盤を拡大するため、報告書『共に生きる』および広報紙『アガペ』の内容を充実させるとともに、発行部数を増やす。			

1998年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	バングラデシュ教育支援プロジェクト	
	団体名	エスナック教育里親グループ	
	実施期間	1998年10月1日	～ 1999年3月31日
バングラデシュ・チッタゴン(沿岸地方)において、現地の篤志家10名によって8年前に建てられた小学校の施設を整備、拡充し、より多くの子どもたちに教育の機会を与える。			

1998年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	フィリピン・マグサイサイにおける児童給食	
	団体名	クリオン・フィリピン・アフリカを助ける会	
	実施期間	1998年10月1日	～ 1999年9月30日
フィリピン・ミンダナオ島マグサイサイにおいて、貧しい山間僻地の栄養不足の小学校児童400名を対象に、5つの給食センターを拠点に、給食サービスを行う。			

1998年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ラオス国バンビエン市小学校建設支援事業	
	団体名	日・LAO交流協会	
	実施期間	1998年10月1日	～ 1999年3月31日
ラオス・バンビエン市の小学校校舎1棟の建て替え、及びトイレ・フェンス・井戸の設置を行い、教育資材を寄贈する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	タイ国初等教育支援事業	
	団体名	APEX小田原	
	実施期間	1998年10月1日 ～ 1999年9月30日	
小田原市内の小学校で廃棄する予定の中古オルガン200台をタイ国の貧困地域の小学校に寄贈し、同国の初等教育に役立てる。寄贈後は、会員が同国を訪問し、オルガンの修理および交流活動を行う。			

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インド国ミゾラム州の地域開発	
	団体名	サークル・ミゾラム	
	実施期間	1998年10月1日 ～ 1999年3月31日	
インド国ミゾラム州において、焼き畑により消失した森林の再生と、持続可能な農業の構築・普及のため、有機農業の技術者の派遣による指導、及び農業技術普及のため日本へ招聘する農業留学生の選考を行う。			

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルワンダ司法制度再建のための図書寄贈およびプロジェクト調査	
	団体名	アフリカ平和再建委員会(ARC)	
	実施期間	1998年10月1日 ～ 1999年9月30日	
ルワンダの司法制度の再建を目的に、ルワンダ国立大学法学部・図書館への法律図書の寄贈による大学のカリキュラム強化、および司法制度再建支援事業の今後の展開のための調査を実施する。			

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インド国・ミゾラム州の地域開発	
	団体名	サークル・ミゾラム※再申請	
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年9月30日	
焼き畑により消失した森林の再生と持続可能な農業の構築・普及のため、インドのミゾラム州に有機農業の技術者を派遣し、技術指導を行う。また、農業留学生を日本へ招聘するための選考を行う。			

1998 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	中国内蒙古沙丘・草原緑化支援とふれあいの旅	
	団体名	中国内蒙古沙丘・草原緑化研究会	
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年3月31日	
中国内モンゴル自治区のウーランアオジュ村において、砂漠化防止のための植林と、地元青年団や子ども達との交流活動を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	国際人権擁護活動プロジェクト	
	団体名	AECC※再申請	
	実施期間	1999年4月1日	～ 2000年3月31日
外国人を対象とした緊急時の保護・国外避難等の支援、日本語教室の運営、(日本人を対象とした)中国語・ポルトガル語等の講座を行う。			

1998 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	インド国・ミゾラム州の地域開発における団体内の通信手段の設置	
	団体名	サークル・ミゾラム	
	実施期間	1999年4月1日	～ 1999年4月30日
インドでの開発プロジェクトをより円滑に進めるため、ファックス付き電話を購入し、団体事務所に設置する。			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ダガラ族エリアにおける医療・保健衛生事業	
	団体名	(特)日本ブルキナファソ友好協会	
	実施期間	2000年2月1日	～ 2000年6月30日
ブルキナファソのダガラ族エリア(8村落、16,000名)において、プライマリ・ヘルス・ケアを重視した僻地医療、現地人医療従事者の教育及び村民を対象とした保健衛生教育を行う。			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパール極西部タルー族の女性を中心とした村の自立支援	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1999年10月1日	～ 2001年3月31日
ネパール極西部のタルー族の多く住む村で、主に成人女性を対象として、識字教室、裁縫・貯蓄トレーニング等を行う。またカマイヤ(農奴)の子どもたちが通う小学校の教員給与の支援を行う。			

1999 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	ネパール極西部支援地域へのスタディーツアー(仮題)	
	団体名	グローバル市民基金「地球の木」	
	実施期間	1999年10月1日	～
「地球の木」の支援先であるネパール極西部へのスタディーツアーを企画、実施する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボディア帰還難民自立支援プロジェクト	
	団体名	日本地雷処理機構(JDA)	
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日	
同団体が地雷を除去した土地で、井戸の掘削・整備、貯水池の造成等を行い、現地に仮住まいしている難民(135世帯)の自立を支援する。			

1999 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	インドシナ難民に対する日本語学習支援プロジェクト	
	団体名	かたつむりの会	
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日	
定期的日本語クラスや県内バスツアー等の活動を通じ、インドシナ難民をはじめとする地域定住外国人の日本語学習を支援する。また、外国人登録、進学、引越し等の生活相談にも応じる。			

1999 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	スリランカでの教育里親里子制度の訴求公演プログラム	
	団体名	C.P.I.教育文化交流推進委員会	
	実施期間	1999年10月1日 ～ 1999年10月24日	
スリランカの子ども達による日本語劇の公演			

1999 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	インドシナ難民定住者を対象とした相談活動の充実に向けたスタッフの専門研修	
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会	
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日	
インドシナ難民定住者の支援活動を行うスタッフが必要な法律知識等を身に付けるための研修を行う。			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア難民養蚕事業による自立支援プロジェクト	
	団体名	JDA日本地雷処理機構	
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2001年3月31日	
地雷除去後の土地に入植した貧困家庭を中心に養蚕事業を行うことにより、収入源の確保と織物技術の習得による自立を支援する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	アジア(スリランカ、南インド)における口腔がん検診	
	団体名	アジアの口腔がん医療を支える会(AFOC)	
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2000年12月31日	
<p>南アジアに多発する口腔がんの早期発見と、その原因と見られている「噛みタバコ」などの嗜好習慣の実態調査のため、スリランカ、インドにおいて、約1,000人を対象に口腔がん検診を行う。また、インドにおいて、日本・インドの合同医師団による口腔がん手術を行い、最先端医療技術の普及を目指す。</p>			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ザンジバル(タンザニア)柔道連盟(NGO)活動支援プロジェクト	
	団体名	横浜エイヂ(横浜・アフリカ・デベロップメント・グループ)	
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2001年3月31日	
<p>ザンジバル柔道連盟に対し、柔道畳、柔道着の補充寄贈、柔道場建設の援助、指導者の派遣を行う。</p>			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ボリビアにおける識字教育のための学び舎づくり支援	
	団体名	識字教育のための学び舎づくりを支援する会・神奈川(学び舎づくりの会)	
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2001年3月31日	
<p>識字教育に取り組むボリビアのNGOと協力し、学習者が自らの学び舎を自らの手で建設・運営していけるよう、日本の左官技術を生かし技術的な支援を行う。</p>			

2000 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	パレスチナ自治区におけるろう教育の充実プロジェクト	
	団体名	(特非)パレスチナ子どものキャンペーン	
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年6月30日	
<p>パレスチナ自治区ガザにおいて、聴覚障害児に対する教育の充実を図るため、子どもたちに美術・体育・音楽を指導するとともに、現地の教員を養成する。</p>			

2000 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパール山間部の学校における教員宿舎の増築プロジェクト	
	団体名	(特非)エル・エンジェル国際ボランティア協会	
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2001年9月30日	
<p>ネパールのポカラ・ラマチョウ地域において同会が運営している学校に、優秀な教員を確保するため、校舎の3階に教員宿舎を増築する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2000年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	エイズ孤児ケアセンター Happy Home 第2棟目建設	
	団体名	バンコクにエイズ孤児ケアセンターをつくる会	
	実施期間	2000年10月 ～ 2001年3月	
タイのバンコク周辺及び北部タイのエイズ孤児約100名を収容するケアセンター(最終的には全10棟を予定)の2棟目を建設する。			

2000年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパール山間部の学校用地活用プロジェクト	
	団体名	(特非)エル・エンジェル国際ボランティア協会	
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日	
同会が学校を運営しているネパール・ボカラ市・ラマチョウ地域において、政府から譲渡された土地を、生徒の教育訓練、地域住民の自立活性化のために、有効に活用する。			

2000年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	神奈川県医療プロジェクト	
	団体名	日本ペルー共生協会(APEJA)	
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日	
神奈川県在住のペルー、及びラテン・アメリカ系住民の人々が、日本国内で健康、安全、文化的に生活するために、医療関係の講演会を開く。また、ビデオを制作し、健康で安全、文化的に生活するための情報伝達を図る。			

2001年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日ラテンアメリカ系住民、特にブラジル人に対する電話相談及び訪問相談(キャラバン)事業	
	団体名	ブラジル人を支援する会(SABJA)	
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日	
電話相談事業はボランティアの協力により、各自の携帯電話で対応する。在日ブラジル人のコミュニティを訪問し、必要な情報を提供するとともに、言語・文化・習慣の違いから生じる様々な問題に対して相談に応じる。相談には幅広く応じられるよう、教育・健康・医療・法律関係の専門スタッフの協力を依頼する。			

2001年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	日本ペルー共生協会神奈川県医療プロジェクト	
	団体名	日本ペルー共生協会(APEJA)	
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日	
神奈川県在住のペルーおよびラテンアメリカ系住民の人々が日本国内で健康、安全、文化的に生活するために、医療関係の講演会を開く。また電話による相談の受付。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2001年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	滞日外国人女性に対する緊急避難施設運営・相談活動	
	団体名	女性の家“サーラー”	
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日	
<p>家庭内暴力や深刻な問題を抱えて行き場を失った外国人女性とその子どもたちを対象として、緊急一時避難施設(シェルター)を運営し、衣食住の提供と問題解決へのケースワーク、自立支援を行う。また滞日外国人向けに、母国語(タイ語・スペイン語・英語など)による電話・面接相談を行う。</p>			

2001年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	中華人民共和国・山西省における日本語教育と日本文化教育の集中講座、並びに教材・文具・教育機器等の援助活動	
	団体名	(特活)日中学術文化交流センター	
	実施期間	2001年10月15日 ～ 2001年11月14日	
<p>山西省・山西師範大学を拠点に、大学教員・学生・社会人に対する日本語教育、並びに周辺地区の初級中学、高級中学生徒に対する日本文化教育を展開する。また、山地の学童への教材、文具、教育機器等の支援を行う。</p>			

2001年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ベトナム貧困地域における無償教育及び生活向上プロジェクト	
	団体名	ベトナム、ブー・ダン県教育基金	
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日	
<p>ベトナム社会主義共和国の南部、ビン・トアン省ハムタン地方タン・ズワン村の極貧地域に住む山岳少数民族の生活向上支援</p>			

2001年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	滞日外国人女性に対する在宅相談活動	
	団体名	女性の家“サーラー”	
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日	
<p>深刻な問題を抱えている滞日外国人女性からの相談を母国語(タイ語・スペイン語・英語・タガログ語)で受ける。シェルターは緊急に必需ではないが在宅でサポートが必要なケース、言葉やインフォメーションが不足し一人で困っているケースを主に支援することを目標とする。</p>			

2001年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	インドシナ難民定住者受け入れ先進国のドイツとオランダの現状視察	
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会	
	実施期間	2002年6月1日 ～ 2002年6月30日	
<p>インドシナ難民定住者を多く受け入れたドイツ、オランダの現在の国・地方自治体、民間団体等の支援の取り組みを視察する</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2001 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴルにおける植林・生態系保全プロジェクト(日本・韓国・モンゴル3カ国市民連携による東アジアの環境保全に向けた国際協働プロジェクト)	
	団体名	市大政策NGO	
	実施期間	2002年4月28日	～ 2002年8月5日
モンゴル・ウランバートル郊外にある小学校とモンゴル国際大学敷地内において、地元の小学生・大学生らと共に、植林活動を行う。			

2001 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ベトナム貧困地域における無償教育プロジェクト	
	団体名	ベトナム・アインサン(光)教育基金	
	実施期間	2002年4月1日	～ 2003年3月31日
ベトナム社会主義共和国の南部、ビンフック省ブー・ダン県の極貧地域に住む山岳少数民族の生活向上のため、無償の識字教育、初等教育、民族文化の継承、職業訓練を実施			

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	ヨコハマハギハッキョ(在日韓国・朝鮮人の子どもたちの集い)と関連事業	
	団体名	ヨコハマハギハッキョ実行委員会	
	実施期間	2002年10月1日	～ 2003年9月30日
韓国・朝鮮の文化や人、日本と韓国・朝鮮の歴史に出会うことで在日韓国・朝鮮人の子どもたちが自分らしく生きるきっかけの場としてヨコハマハギハッキョ(夏期学校)を年に一回開催しているものの継続事業を行う。また、事業が10年を経過したので、その中で明らかになってきたことや課題を記録集としてまとめ、さらなる広がりを図るために出版の準備も行う。			

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日ラテンアメリカ系住民、特にブラジル人に対する電話相談及び訪問相談(キャラバン)事業	
	団体名	ブラジル人を支援する会(SABJA)	
	実施期間	2002年10月1日	～ 2003年9月30日
電話相談事業は、ボランティアの協力により、各自の携帯電話で対応する。キャラバン事業は、在日ブラジル人のコミュニティを訪問し、必要な情報を提供するとともに、言語・文化・習慣の違いから生じる様々な問題に対して相談に応じる。相談には幅広く応じられるよう、教育・健康・医療・法律関係の専門スタッフの協力を依頼する。			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カノア漁村地域における教育意識改善プロジェクト	
	団体名	CRIーチルドレンズ・リソース・インターナショナル	
	実施期間	2002年10月1日	～ 2003年9月30日
ブラジル国カノア・ケブラーダ漁村地域において、現地の教育活動と協力して、幼児教育や生涯学習を推進、促進することで、教育、育児の水準を向上させ、住民の教育意識改善を目的とし、現地法人と共同して保育園、識字教育教室の運営・指導及び生涯学習を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	児童労働削減のためのラジオ放送プロジェクト	
	団体名	(特活)草の根援助運動	
	実施期間	2002年10月1日 ～ 2003年9月30日	
フィリピンの17の州および地域で、教育の機会を奪われて危険な労働に従事している児童労働者とその家族の状況の改善を目的として、現地NGO・PRRM(フィリピン農村再建運動)と共同で啓発とファンドレイジングおよびドナー開拓のためのラジオ放送を行う。			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルワンダにおけるバナナ工芸品製作技術指導プロジェクト	
	団体名	アフリカ平和再建委員会	
	実施期間	2002年10月1日 ～ 2003年9月30日	
ルワンダは現在、内戦・虐殺後の復興期にあるが、経済ははまだ改善途上である。戦後は多くの女性が世帯主となり、生計の維持を担っている。そのような女性達のために、所得向上につながる民芸品製作技術を指導する。			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ハイチにおけるバナナペーパー支援事業	
	団体名	(特活)バナナ・ペーパー・プロジェクト国際協力の会	
	実施期間	2002年10月1日 ～ 2003年12月31日	
ハイチのバナナペーパー工房と協力しあい、バナナペーパーを流通に乗せるための開発を行う。また、ストリートチルドレンのための現地NGOの協力で、バナナペーパーの実際の紙作りをバナナ工房スタッフと共に指導する。			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴル国における母子家庭自立と環境緑化「希望の森」プロジェクト	
	団体名	モンゴル・日本経済促進センター	
	実施期間	2003年4月 ～ 2006年3月	
モンゴル国のウランバートル市において、貧しい母子家庭の自立を主な目的とし、モンゴル商工会議所、ウランバートル市、モンゴル科学アカデミーと協同で職業技術指導を行なう。			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ホンジュラス青少年育成プロジェクト	
	団体名	(特活)アムダ	
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日	
ホンジュラス共和国テグシガルバ市において、小中学校生徒およびその両親、教師に対して、性感感染症、HIV/AIDS予防教育を含めた青少年育成を、ホンジュラス保健省青少年課および保健所と共同で実施する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	ヨコハマハギハッキョ(在日韓国・朝鮮人の子どもたちの集い)と関連事業	
	団体名	ヨコハマハギハッキョ実行委員会	
	実施期間	2003年4月	～ 2004年3月
<p>本実行委員会は10数年前からヨコハマハギハッキョ(夏期学校)を開催している。ここでは、在日韓国・朝鮮人の子どもたちが、韓国・朝鮮の文化や人、日本と韓国・朝鮮の歴史に出会うことによって、自分らしく生きるきっかけをつかむと共に、日本人の子どもたちや新渡日の子供たちが他文化を実感できる場づくりとなっている。</p>			

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	留学生との交流会／留学生の工場見学案内	
	団体名	留学生と語り合う会	
	実施期間	2003年4月	～ 2004年2月
<p>留学生との交流会：一般の日本人との交流を希望する留学生を集め、留学生支援のボランティアである会員と自由に交流する機会をつくり、留学生の各種の希望を集約したり、留学生による母国の話、日本の印象、直面している生活上の困難などについて日本語で発表してもらいます。工場見学：日本企業の現場を見せ、日本企業に親近感を持ってもらうことは重要なことと考えられる。</p>			

2002 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	会員の日本語指導力向上研修会／広報活動	
	団体名	留学生と語り合う会	
	実施期間	2003年4月	～ 2004年3月
<p>日本語研修会：留学生にとって、日本人との会話の機会意外と少なく、ボランティアから日本語を学びたいという希望は強い。これに応えるため、当会としては、正しい日本語を留学生に教える能力を高めるため、年に数回、専門家による日本語の教え方についての研修会を持つことが必要と考えます。広報活動：会の広報誌「RKKニュース」を年4回、各500部発行し、会員、登録留学生をはじめ、友好ボランティア団体、留学生支援に関心を持つ一般県民および周辺の留学生などに郵送、配布を行っています。同時にホームページを通じ最新の活動情報を提供しております。</p>			

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	スリランカ戦争孤児救済プロジェクト	
	団体名	スリランカ慈善福祉協会	
	実施期間	2003年4月1日	～ 2004年3月31日
<p>スリランカ北東部で19年続いた戦争の犠牲者である孤児(女子)の家を建て彼女たちの窮状を救い、学校に行かせ、良い大人に育てる助けをします。</p>			

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	「移住女性のエンパワメントへ向けた自立援助および相談事業」	
	団体名	カラカサン移住女性のためのエンパワメントセンター	
	実施期間	2003年4月1日	～ 2004年3月31日
<p>主にドメスティックバイオレンスのサバイバーの移住女性の自立およびエンパワメントを目的とした相談活動を行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	移住労働者のための互助組織活性化事業	
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)	
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日	
<p>移住労働者による互助組織の活性化の一環として、労働法の基礎知識及び労働トラブルに遭った場合の解決法とを学ぶ労働法学習会の開催と、子供たちに移住労働者への理解を深めてもらうための、移住労働者自身による派遣授業プログラムの開発とを行う。</p>			

2002 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	核軍縮に関するNGO国際フォーラムへの若手活動者派遣事業	
	団体名	(特活)ピースデポ	
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日	
<p>核兵器廃絶をめざす国際NGOの活動の最前線に、若手活動者複数名を派遣する。派遣された者が、成果の普及をしながら、継続して核軍縮の国際活動に参加することを前提とする。</p>			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ミャンマー チャコン村における教育改善プロジェクト	
	団体名	ミャンマーに学校を建てる会	
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年6月31日	
<p>ミャンマーのヤンゴン管区チャコン村において、初等教育対象年齢の児童を対象に、教育機会向上の目的の一環として教育施設の建設を行う。</p>			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	スリランカ戦争孤児救済プロジェクト	
	団体名	スリランカ慈善福祉協会	
	実施期間	2004年1月10日 ～ 2004年12月9日	
<p>スリランカ北部及び東部で約19年間続いた内戦の犠牲者である孤児(女子)の家を建て彼女たちの窮状を救い、学校に行かせ、よい社会人に育てる手助けをする。</p>			

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	神奈川県外国籍県民、関係者に防災研修会(神奈川県西部地震を解説した制作ビデオを活用)	
	団体名	都市防災研究会	
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年4月30日	
<p>外国籍県民、その関係者(通訳、ボランティア等)が、厳しい地震環境に暮らしていることを認識し、災害発生時に冷静に対処できるよう、日頃の備え、発生時の対応、災害体験、災害食の試食、意見交換等の「防災研修教育」を実施する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	移住女性のエンパワメントへ向けたスキルアップ講座の開催	
	団体名	カラカサン～移住女性のためのエンパワメントセンター	
	実施期間	2003年10月1日	～ 2004年9月30日
主にドメスティックバイオレンスの元被害者の外国籍女性の自立およびエンパワメントを目的とした研修事業を行う。			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	いまが最後のチャンス！サラワク州・森の先住民のオーラル・ヒストリー（聞き書きによる歴史記録）支援事業	
	団体名	サラワク・キャンペーン委員会	
	実施期間	2003年10月1日	～ 2005年9月30日
マレーシア国サラワク州において、先住民族の歴史を記録に残すオーラル・ヒストリーの担い手育成を、現地NGOと共同で行う。先住民が土地の利用権を争う裁判の資料となる地図づくりをすすめ、併せて今や継承が危ぶまれる文化や歴史の継承、先住民族の若者や女性など地元根ざした活動家育成を目指す。			

2003 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	開発教育・英語教育に基づいた国際理解教育の実践	
	団体名	国際理解教育研究会 (IES)	
	実施期間	2003年10月1日	～ 2004年3月31日
世界全体を視野に入れた正しい国際理解・伝達の手段としての正しい英語教育実践のために、「開発教育と組み合わせた体系的な国際理解教育の実践」および自分たちの言葉で自分達の考えを伝達していくための「英語で遊ぼう」を実施する。			

2003 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	開発教育・英語教育に基づいた国際理解教育のための研修	
	団体名	国際理解教育研究会 (IES)	
	実施期間	2003年10月1日	～ 2004年3月31日
世界全体を視野に入れた正しい国際理解・伝達の手段としての正しい英語教育を実践すべく、様々な開発教育の研修に参加、勉強し、国際理解教育とのジョイント授業を立案する。また「英語で遊ぼう」で、自分の考えを伝達するための英語を、自然体で導入する継続的な授業プランを作成するために研修・資料収集を行う。			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴルにおける植林・生態系保全プロジェクト	
	団体名	よこはま市大政策NGO	
	実施期間	2004年4月1日	～ 2005年3月31日
森林破壊・砂漠化の進むモンゴルにおいて、植林、苗木生産のモデル事業を開発する。日本から年2回スタッフが現地に出向き、協働の調査研究事業等を実施する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	フィリピン・マニラ市におけるストリート・チルドレンの支援活動	
	団体名	サンアンドレス・グループホームを支援する会	
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日	
フィリピン・マニラ市においてストリートチルドレンを救済・支援する施設を運営するとともに、施設に受け入れた学生が中心となって、算数や絵画の指導、遊び等の野外活動を実施する。			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ホンジュラス農村地域における保健向上プロジェクト	
	団体名	(特活) AMDA	
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日	
ホンジュラスの農村地域において、ボランティアによる薬局(26ヶ所)の運営を支援する。新たに開設する6ヶ所の医薬品を提供するとともに、ヘルスボランティアの育成を行う。また、母子の健康向上のための、産婆教育を実施する。			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インドネシア未電化地域における、家庭用小型太陽光発電の住民による維持管理の仕組み作り	
	団体名	ソーラーネット	
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日	
インドネシア・南ゴア県において、民家に設置した太陽光発電システムを地域住民で持続的に維持管理できることを目的に、同国NGO・住民と共同で仕組みづくりを行う。			

2003 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インドネシア・パプア州のジャムルスバメディ地域におけるオサガメの保護プロジェクト	
	団体名	(特活) エバーラスティング・ネイチャー	
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日	
インドネシア・パプア州において、少数民族カロン族の人々を主体としたオサガメ保護のための知識・技術指導および人材育成を行い、産卵率の向上のための保護方法を検討する。			

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日ブラジル人児童生徒のための自助型母語・母文化教育ボランティア制度を確立するための在日ブラジル人による教材等作成プロジェクト	
	団体名	Grupo ABC(グルッポ・アーバーセー)	
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日	
川崎市中原区を中心に、在日ブラジル人の子どもたちを対象に実施している母語・母文化教室で使用する教材及びホームページを作成する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2004年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴル国酪農牧場支援プロジェクト	
	団体名	(特活)開発と未来工房	
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2007年9月30日	
<p>モンゴル国のセレンゲ県サント郡において小規模な酪農モデル農場を設立・運営することにより、技術・組織力が脆弱なため貧困下におかれている牧民に対して、生産性の高い酪農技術を普及させるとともに、牧民を組織化して牛乳の出荷システムを整備することにより、彼らの収入を向上させる。</p>			

2004年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	東北タイ指導者育成日本招聘事業	
	団体名	アジア農民交流センター(AFEC)	
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2005年9月30日	
<p>タイ国の東北地域において、地域資源の枯渇、グローバル経済の混入により多額な借金を背負っている人々を対象として、地域資源回復と地域主体の経済づくりを目的として、境遇は違っても同じような問題を抱える日本人々との経験交流、東北タイ指導者育成日本招聘事業を行う。</p>			

2004年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	セスラ校長・マリクレールさん招聘プロジェクト	
	団体名	ハイチの会・セスラ	
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2004年11月20日	
<p>支援対象であるハイチ・セスラ学校長を日本に招き、横浜、川崎地区のイベントでハイチを紹介し、小中学校でハイチの話をしてもらう。</p>			

2004年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	学校と地域・専門家・ボランティアが連携して行う外国籍児童・生徒への学習支援事業とネットワーク形成	
	団体名	上飯田地区親子の日本語教室実施委員会	
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2005年9月30日	
<p>横浜市立いちよう小学校、飯田北小学校、上飯田小学校、上飯田中学校に通う外国籍児童・生徒を対象として、学校で必要な日本語を総体的、体系的に学ぶことができる日本語教室を実施する。そこで地域を支えるボランティアを養成し、学校・地域の支援団体・専門家の三者による支援のネットワークを構築する。</p>			

2004年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	世界8カ国のアーティストによる世界平和を願うコンサート「愛と平和のシンフォニー」～ひとりの声の世界を変える～	
	団体名	WE LOVE THE WORLD	
	実施期間	2005年1月11日 ～ 2006年3月31日	
<p>神奈川県民ホールにて海外や在日の芸術家達によってくりひろげられる音楽と舞踊と合唱による世界平和を訴えるコンサート。神奈川県在住の在日の外国人を中心とした出演者、観客の交流を目指す。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2004 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	パレスチナ自治区・ガザ南部(ラファ)における緊急食糧支援	
	団体名	日本国際ボランティアセンター(JVC)	
	実施期間	～	
<p>ガザ南部ラファにおける、中等度・重度の栄養失調と特に貧しい家庭を対象とした緊急支援を行う。また、これらの活動を通じて得た現地の人道状況や情勢、人々の暮らしや文化などを伝える活動として神奈川県内の市民グループや県施設、教育施設などにおける支援報告・国際理解活動を行う。</p>			

2004 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴル国獣医サービス提供システム再構築プロジェクト	
	団体名	(特活)開発と未来工房	
	実施期間	2005年3月1日	～ 2007年2月28日
<p>モンゴル国のウムヌゴビ県バヤンダライ郡において、牧民を組織化して家畜に対する寄生虫対策を実施することにより、約9,000頭の家畜を健康にして自然災害の被害を受けにくくするとともに、家畜の原皮の質を高めて牧民の現金収入を向上させる。なお、プロジェクトの実施期間としては、成果が得られ自立が確保されるまでの2007年春までの期間を想定している。</p>			

2004 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	日本とアジアNGOのネットワーク活動として取り組むメディア・リテラシー	
	団体名	(特活)FCT市民のメディア・フォーラム	
	実施期間	2005年4月1日	～ 2008年3月31日
<p>フィリピン、インド、カンボジアなどのアジア諸国におけるメディア・リテラシー教育の普及を目的として、NGO関係者や小・中・高校の教育関係者などを対象に、アジアNGOネットワークであるANWIC(The Asian Network of Women in Communication)と協同で、メディア・リテラシー研修セミナーを実施し、メディア・リテラシー教育の専門家の育成と支援を行う。さらに、アジア各国でメディア・リテラシー教育を展開できるよう、英語版のメディア・リテラシー教材を開発する。</p>			

2004 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	ガールスカウト神奈川県支部韓国交流キャンプ	
	団体名	(社)ガールスカウト日本連盟神奈川県支部	
	実施期間	2005年7月24日	～ 2005年12月
<p>中学生、高校生40名、成人10名 野外キャンプを通して、自然環境、自然とのかかわりをより深く理解し、ホームステイを経験することにより等身大の生活・文化を知り、互いの理解を深め、互いを尊重しあうことの重要性を体験する。帰国後は、より多くの同世代及び下の年代に対して、自らの体験を通して得た『共生』の重要性を自らの言葉を通して伝える。さらに、共生社会実現の担い手として多くの人達へ、深い国際理解を広げていく。</p>			

2005 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	スマトラ島沖巨大地震及び津波被害に対するアチェ地域社会支援プロジェクト～漁民の生活再建プロジェクト～	
	団体名	(特活)インターバンド	
	実施期間	2005年10月1日	～ 2006年9月30日
<p>地震及び津波被害の影響による社会不安が続くインドネシア国のアチェ州において、現地NGOとの協力のもとでの漁民の生活再建支援を行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2005 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	国際交流に必要な資質を育てる、子供の為の人権教育	
	団体名	国連登録NGO横浜国際人権センター	
	実施期間	2005年10月1日 ～ 2006年9月30日	
神奈川県内の小・中学校を訪問して、将来を担う子供達に、国際人として、世界で活躍するべき人間性を育てるための人権教育			

2005 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	横浜国際人権センター 人権啓発事業	
	団体名	国連登録NGO横浜国際人権センター	
	実施期間	2005年10月1日 ～ 2006年9月30日	
日本国、神奈川県内において、内外の差別事件、人権問題の根絶のため人権啓発講演会、研修会、人権移動教室、人権啓発機関誌の発行、その他イベント等を実施して、人権啓発活動を行う。			

2005 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	「スーホの家」設立と運営	
	団体名	(特活)国際交流は子どもの時から・アジアの会	
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日	
モンゴルのウランバートル(人口100万人)の貧しい地域で、巡回する「コミュニティ・センター」を設立して、児童と主に母子家庭を対象とする読書、健康講座、予防医学、食生活の改善などの啓発を行う。			

2005 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴル国における児童文学促進交流プロジェクト	
	団体名	日本おにぎり隊	
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日	
自国語の児童文学を、「読みたい」子どもたち、「読ませたい」作家たちのニーズがあるのに、出版社がなく、児童図書館にもロシア語の本が大半である、という現状の改善を主目的として、モンゴル国・日本両国の作家が共同で絵本を作成し、現地で子供たちに配布。同時に自国及びアジア文化に対する理解を深めるための文化交流を行う。			

2005 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	フィリピンの子ども・青年たちへの学習機会提供プログラム、および日比交流プログラム創設事業	
	団体名	(特活)ケアリング・フォー・フューチャーファンデーション ジャパン	
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日	
フィリピン国パンガシナン州スワル町において、青少年を対象とした学習機会提供プログラムを創設する。またさらに、同プログラム対象となったフィリピンの青少年と日本人々(主に青少年)の交流を促進する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2005 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	NGO平和研究者育成のためのセミナー事業	
	団体名	ピースデポ	
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日	
<p>平和問題に関心のある大学生、大学院生等を対象に、平和・地域安全保障の現代的課題に関する連続セミナーを開催するNGO研究者と学術研究者が協力し、各回の講師をつとめる。講演の記録、関連資料を発行物にまとめ、普及する。NGOの平和研究アプローチや平和文化に対する若者の関心を高め、将来を担うNGO研究者を育成することを目的とする。</p>			

2005 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	日韓青少年交流「共に創る未来～みなおそう食～」	
	団体名	(社)ガールスカウト日本連盟 神奈川県本部	
	実施期間	2006年6月1日 ～ 2006年9月30日	
<p>韓国より小学生から高校生までの年代20名を招聘し、日本の同年代の子どもたちと共に農業体験、環境保全体験、野外生活体験を行う。自分たちの夢・娯楽・さまざまな問題点を話し合い、自分たちができることを見出す。さらに世界へ目を向け、『持続可能な社会にむけて』互いの環境で自分たちだからできることを発見し、行動計画を作成する。</p>			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	アフガニスタン辺境地における女性健康改善プロジェクト	
	団体名	(特活)難民を助ける会	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2006年9月30日	
<p>いまだ混乱が続く、世界有数の地雷汚染国であるアフガニスタンの北東部辺境地域にて、特に脆弱な立場におかれた地雷被害者を含む女性障害者へ、理学療法によるリハビリテーションを実施する。また、必要な患者には義肢装具を提供する。</p>			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	第9回自転車寄贈事業	
	団体名	日本ベトナム友好協会川崎支部	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年1月31日	
<p>ベトナム国中部都市ダナン市と、その隣接 QuangNam省の生徒たちの恵まれない学習環境改善を目的とし、Danang Union of Friendship(Danang UFO)と共同して川崎市提供の放置自転車を寄贈している。申請事業は第9回目の自転車寄贈事業である。</p>			

2006 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	事業発展・ボランティア育成のためのカウンターパート招聘計画	
	団体名	日本ベトナム友好協会川崎支部	
	実施期間	2006年11月1日 ～ 2006年11月9日	
<p>ベトナム国中部都市ダナン市と、その隣接QuangNam省の生徒たちの恵まれない学習環境改善を目的とし、Danang Union of Friendship Organization(Danang UFO)と共同して川崎市提供の放置自転車を寄贈している。申請事業は、カウンターパートDanang UFOの議長Nguyen Dinh An氏を招聘し、視察いただくものである。また、今後の事業発展と事業を担うボランティアの育成を目的として、川崎市内にて講演をしていただく。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ロボット技術啓蒙によるIT普及活動プロジェクト	
	団体名	(特活)アジア高等教育支援機構	
	実施期間	2007年2月15日 ～ 2007年3月31日	
<p>ラオス国立大学工学部において、数年前からロボット大会が開催されており、その指導はこれまで東海大学、明治大学教員により行なわれてきた。しかしながら、ラオス人大学教員のロボット技術に関する能力はまだ一人立ちできるレベルには達していない。ロボット大会を開催するには、まず、仕様書、試作品の作成から始まり、参加技術学校に対する技術指導が必要となる。そのために、ある一定期間のワークショップを通じての技術指導が非常に効果的となっている。2006年11月に開催されるロボット大会のワークショップは6月中旬に開催されるが、この指導専門家の要請が当「特定非営利活動法人アジア高等教育支援機構」に行なわれ、2名の指導教員が派遣される予定である。今回の助成金申請は来年(2007年)に開</p>			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジアのコミュニティ・ディベロップメントに基く情報センターの設置～中・長期的平和構築の試みとして～	
	団体名	(特活)インターバンド	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日	
<p>カンボジア王国のバタンバン州トゥモカル郡またはバナナ郡において、除隊兵士や地雷被害者など社会的弱者を含むコミュニティの相互扶助促進を目的とした、情報センターを設置する。</p>			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インド西ベンガル州における女性自助グループ活動を中心とする、多目的教育センター事業	
	団体名	(特活)WE21ジャパンよこすか	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日	
<p>インド西ベンガル州において、厳しい状況におかれている最下位のカーストや少数民族(サンタル族)、土地なし農民の人を対象として、村の女性や青少年たちが、基本的な読み書きと、入手可能な地域資源を有効に活用した収入向上技術を習得するよう指導する。保育所活動を通じて、幼児教育の重要さと、栄養教育の大切さを認識できるようにし、地域の拠点をつくりコミュニティの開発を、現地NGO“DRCS”と共同で行う。</p>			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア王国スレイセントー・コーンミア保健行政区における保健ボランティア育成プロジェクト	
	団体名	(特活)シェア＝国際保健協力市民の会	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年12月31日	
<p>カンボジア王国コンボンチャム県スレイセントー・コーンミア保健行政区において、郡保健行政局、保健センター、地域住民と協力して、地域住民参加の保健状況改善を目指して、その担い手となる保健ボランティアの育成を行う。</p>			

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	来日在住中国人に対する日本語教育の実施	
	団体名	互相学習会	
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日	
<p>来日在住中国人に日本語教育を受ける機会を提供し、これを通じて市民レベルの友好親善関係の構築を目指す。 日本語教育は、現在横浜市中区で毎週3回(年間108回X2時間)教室を開き、年間述べ約1300名が参加しており、これを継続する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	公立小学校における放課後日本語学習支援事業	
	団体名	ALPA	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日	
<p>横浜市鶴見区潮田小学校に通う外国人児童生徒を中心に、放課後の空き教室においての教科学習支援・日本語学習支援を行う。また、夏季冬季の休暇中には保護者とともども(できれば)小さな校外学習行事を行う。</p>			

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日外国人当事者による子どもの居場所作り及び学習支援と日本人支援者への課題提起	
	団体名	すたんどばいみー	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日	
<p>県営いちよう団地とその周辺地域において、学校にも家庭にも居場所を見出しにくく、学力も低位に置かれがちな在日外国人の子どもを対象に、居場所と学力の保障を目的として、在日外国人当事者が主体となって居場所作りと学習支援を行うと共に、活動にかかわる日本人支援者に当事者の問題を×Nする。</p>			

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日外国人母子対象『野外体験プログラム』『暴力を目撃して育った子どもの心のケアプログラム』実施	
	団体名	湘南DVサポートセンター	
	実施期間	2007年5月1日 ～ 2008年3月31日	
<p>神奈川県在住の、暴力や虐待の被害を受けた外国人女性と子どもを対象として、自尊心と信頼関係の回復を図るための『野外体験プログラム』と『暴力を目撃して育った子どもの心のケアプログラム』を実施する。</p>			

2006 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	ACTION: 感染症、伝染病、自然災害そして難民支援に関するアジア諸国共同トレーニング	
	団体名	国際医学生連盟日本(IFMSA-Japan)	
	実施期間	2007年8月1日 ～ 2007年8月31日	
<p>タイ王国バンコクにおいて、公衆衛生と教育の場における国際的で将来にわたって活躍できる人材の育成を目的とし、「国際医学生連盟タイ国」と「インドネシア医学生活動センター」と共同で、感染症、伝染病、自然災害や難民支援に関する訓練を、医学生を対象として行う。</p>			

2006 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	HIV/AIDS Project	
	団体名	(特活)アイセック・ジャパン 慶應湘南藤沢委員会	
	実施期間	2007年6月1日 ～ 2007年7月31日	
<p>日本の若者に対してHIV/AIDSの予防啓発活動を行う。海外から学生を招へいし、日本国内でHIV/AIDSに関する活動を行っているNGO、企業、行政機関への受入を行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2006年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	Rainmaker Project	
	団体名	(特活)横浜アートプロジェクト	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日	
<p>日本で開発され、海外の乾燥地においてもその有効性が実証されている播種方法「粘土団子」による砂漠緑化と、現地住民への同手法の指導及び国内での環境教育を目的とした活動。森林破壊と砂漠化が大きな問題となっているケニアにて、駐日ケニア大使館、ケニアの環境・自然資源省、森林調査研究所等の協力を得、地元の市民団体(CBO)との協働で、粘土団子による緑化の実証実験と現地住民への同手法の指導を行う。また、現地の活動の状況を記録し、日本国内で映像を活用して開発途上国の環境問題についての普及啓発を行う。</p>			

2006年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	セスラ学校建設プロジェクト 第1ステージ「調査と組織作り」事業	
	団体名	ハイチの会 セスラ	
	実施期間	2007年7月1日 ～ 2007年8月31日	
<p>ハイチ・セスラ校の校舎建設用地取得のための調査:候補地の視察、検分(実測、井戸水、水はけ、土地の状態など)。地主との話し合い。現地の不動産鑑定士による査定。査定をふまえての再度の地主との交渉。 学校建設のための組織作りと調査:校舎建設のための組織づくり(仮称・・セスラ学校建設チーム)そのチームとともに学校関係者が自分たちで出来ることと建設業者にゆだねることの選別する。自分たちでできることの細部と予算つく</p>			

2006年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ルソン島北東部ジョーンズ地域における多目的コミュニティセンターの建設～主に図書館兼DVシェルターとして活用～	
	団体名	(特活)国際交流ハーディー港南台	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2009年3月31日	
<p>ジョーンズ地域は自然災害のため極貧家庭が多く、教育環境も最悪で教科書は教師しか所有しておらず、図書館が必要である。また、多発するDVや台風被災者の一時避難場所、地域住民がコミュニケーションを深め、保健知識の普及や文化活動を行うなど、多目的な使用を目的とする建物を建設する。(次第に住民、役所(LGU)側にボランティアの気風が育ちつつあり、土地、労働力、完成後の管理維持など積極的な申し出がある。その他運営は当該地域の村長の連合会や公立校校長のネットワークが活用され、たとえば、図書の見直しや情報取得の際の支援体制が見込まれる。)</p>			

2006年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	日本の藪椿をネパールに植林するための予備調査	
	団体名	(特活)山の自然学クラブ	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2007年7月31日	
<p>ネパール国の貧困な状況におかれている人々のうちの、農民の生活改善を対象にして行うもので、自助努力を促して植林をしてもらい、有価の種子が採れる藪椿を育苗し植林を進める。同時に二酸化炭素吸収源を地元の人の力で増やすことを行う。今回はこの計画に対する村民の実施意欲・意識の予備調査であり、また今後の計画推進により会員活動の盛り上がりを作る。</p>			

2006年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	モンゴル「緑の長城」調査協力プロジェクト	
	団体名	東アジア環境協働行動よこはま	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2009年2月28日	
<p>モンゴル国のゴビスンバル県を中心に、砂漠化が進行する「緑の長城計画」実施地域の植生再生のための調査協力を行う。調査の成功的推進を通じて、同国内の人たち自身によって砂漠化防止が実施されるためのスキーム開発を図る。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2007年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	神奈川県における人身売買被害の早期発見事業	
	団体名	ポラリスプロジェクト	
	実施期間	2007年10月1日 ～ 2008年9月30日	
<p>神奈川県内の外国人コミュニティ(教会・ネットカフェ・食料品店・レストラン)において問題認識の共有並びにネットワークづくり。防犯パトロール、イベント等においてノベルティグッズ頒布を通しての街頭啓発キャンペーン。これらを通し被害者や被害者層への接触機会を増やし、被害者救済を目的とする。</p>			

2007年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	SHIFT(Solution of HIV Issue with Foreign Trainees) ～外国人学生と共に考えるHIV問題への持続的な取り組み～	
	団体名	アイセック慶應湘南藤沢委員会	
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日	
<p>Global AIDS Dayの前後に2か月間、海外学生が日本のNPOへインターンシップをし、HIV問題を共に取り組む。また、企業が扱うCSRとしてのHIV問題の取り組みにも参加する。インターンシップを通じて大学を卒業した後も「持続的に」HIV問題を扱える知識やスキルを身につけることを目標とする。最終的に、協力団体AIDSネットワーク横浜が主催する、HIV予防啓発の「映画」の運営実行に、研修生やプロジェクトメンバーが参加する。</p>			

2007年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	Rainmaker Project	
	団体名	横浜アートプロジェクト	
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日	
<p>日本で開発され、海外の乾燥地においてもその有効性が実証されている播種方法「粘土団子」による砂漠緑化と、現地住民への同手法の指導及び国内での環境教育を目的とした活動。森林破壊と砂漠化が大きな問題になっているケニアにて、駐日ケニア大使館、ケニアの環境・自然資源省、森林調査研究所等の協力を得、地元の市民団体との協働で、粘土団子による緑化の実証実験と現地住民への同手法の指導を行う。また、現地の活動の状況を記録し、日本国内で映像を活用して開発途上国の環境問題についての普及啓発を行う。</p>			

2007年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	人身売買問題を伝えるワークショップの実務者養成事業	
	団体名	てのひら～人身売買に立ち向かう会	
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日	
<p>当会の主たる事業である、人身売買問題を一人でも多くの人に伝え、考えてもらう『人身売買問題を一人でも多くの人に伝えるための、きっかけワークショップ提供事業』の担い手を育成する。</p>			

2008年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	パレスチナ・ガザ地区における子どもの栄養改善支援事業	
	団体名	(特活)日本国際ボランティアセンター	
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年3月31日	
<p>人道危機に陥っているパレスチナ・ガザ地区で、子どもの栄養改善のための食料の提供、栄養教育、支援物資に地元製品を使うことで地場産業を支援する。この事業を通して現場の状況を神奈川県下でも発信し、市民の平和を求める意識を喚起し、支援者や理解者を増やししながら取り組む。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2008 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	Youth, Development & Peace Japan 2008	
	団体名	YDPジャパンネットワーク	
	実施期間	2008年10月11日	～ 2009年3月31日
<p>地球的課題に取り組む若者のエンパワメントを目指した、合宿型のイベント。2泊3日で、参加者150人程度を見込み、活動に必要な能力醸成を図るとともに、協働プロジェクトの創出や、今後1年間の学生団体の行動計画の策定などを行う。</p>			

2008 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	アジア地区における麻疹根絶に対する民際協働の取り組み～外国籍住民の医療アクセスの改善への試みを含めて～	
	団体名	はしかマシーン	
	実施期間	2008年10月1日	～ 2009年9月30日
<p>国内での社会的弱者とも言える在日外国人への保健医療へのアクセスやサポート体制が十分だとはいえない。このような在日外国人に対して、啓発やワクチン接種など、具体的な医療を行う。</p>			

2008 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	アジア地区における麻疹根絶に対する民際協働の取り組み～麻疹根絶国に学ぶ～	
	団体名	はしかマシーン	
	実施期間	2008年10月1日	～ 2009年9月30日
<p>アジア地区での麻疹(はしか)の根絶を、NGO活動を通じてさまざまなアプローチ方法を用いて目指す。特に日本は「麻疹の発展途上国」との認識を持ち、先進西側諸国から市民におけるワクチン接種の啓発活動等の接種の動機付けをどのように行っているかを学ぶ。</p>			

2008 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	(社福)日本キリスト教奉仕団「アガベ交換研修プログラム」フィリピン・中国研修成果発表プロジェクト	
	団体名	(社福)日本キリスト教奉仕団	
	実施期間	2008年10月1日	～ 2009年5月31日
<p>法人創立50周年記念行事実施に際し、法人の事業の一つで開始30周年を迎えるアジア研修交流事業「アガベ交換研修プログラム」(アジア福祉事業従事者人材育成事業)の元研修生(障害当事者を含む)を招聘し、研修終了後の母国での活動の成果を報告してもらう。研修実施場所である神奈川県他での報告講演・交流会を通して社会福祉従事者、障害当事者とその家族、地域住民にアジアの障害者福祉の現況、必要とされている支援、問題点、先方から学ぶ点などを理解していただき、寄付金のみによって運営されている当プログラムをさらに充実するための協力を訴える。同時にフォローアップとして研修生の希望分野におけるリフレッシュ研修を実施する。</p>			

2008 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア王国シェムリアップ州における小中学生を対象にした健康教育プロジェクト	
	団体名	県立保健福祉大学・アナーコット	
	実施期間	2008年10月1日	～ 2009年3月31日
<p>カンボジア王国シェムリアップ州において、健康に関する知識が足りず、健康で安全な生活が送れない小中学生を対象として、保健福祉の分野でその地域に必要とされる健康教育を行い、病気や栄養失調の予防を含め、現地の発展に寄与する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2008 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	パレスチナ記録映画の上映会・シンポジウムやパレスチナ学習会の開催	
	団体名	土井敏邦 パレスチナ・記録の会	
	実施期間	2009年4月1日 ～ 2010年3月31日	
<p>パレスチナ・記録する会は2006年12月から、ジャーナリスト土井敏邦が1985年以来パレスチナの占領地を中心に、そこで生き続ける民衆を撮りためてきた数百時間に及ぶ映像を4本シリーズのドキュメンタリーの作成を手がける中で、上映会やシンポジウム、学習会を開催してきた。2009年1月4本シリーズのドキュメンタリーが完成することになり、2009年以降、このドキュメンタリーを利用してパレスチナ問題についてのシンポジウムを国内外で実施し、学習会も企画運営していく。</p>			

2009 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	ベトナム社会主義共和国ダナン市・クアンナム省ディエンバン地区ディエンフック村における教育支援プロジェクト	
	団体名	JUNKO Association	
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年4月31日	
<p>ベトナム社会主義共和国ダナン市及びクアンナム省ディエンバン地区ディエンフック村において、経済的理由により十分な義務教育環境の下にない子どもたちを対象として、教育環境の改善を目的として、助成金事業や教育支援活動のための調査を行う。</p>			

2009 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	第2回 やまと国際アートフェスタ ～私のたからもの～	
	団体名	やまと国際フレンドクラブ (IFC)	
	実施期間	2009年10月 ～ 2009年12月	
<p>大和市には、外国籍の子供たちが多数在住しているが、日本語が話せないために、日本人との共生が図れないことが課題となっている。昨年、子供たちの国際交流を図るために、第1回「国際アートフェスタやまと」を開催し、朝日新聞で大きく取り上げられるなど、好評を得た。今年は、昨年に引き続き、市内の小中学校の生徒児童、国際教室に呼びかけて、ふるさと、日本、地球、世界、家族、友人等で、自分のたからものとしているものを、描いてもらう。この作品作りを通じて、子どもたちが、身の回りから世界を見つめ、多文化理解と共生していく、きっかけとなり、自らの想像力と表現力を養うことを目的とする。また、会場では、エコキャップによる投票で入賞作品を決定することで、双方向での交流を目指す。エコキャップは、</p>			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	カンボジア王国シェムリアップ州における小学生を対象とした健康教育プロジェクト	
	団体名	神奈川県立保健福祉大学 国際交流ボランティアサークル アナーコット	
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日	
<p>カンボジア王国シェムリアップ州において、健康に関する知識が足りず、健康的な生活が送れない小学生を対象として、保健福祉の分野でその地域に必要な健康教育を行い、病気や栄養失調の予防を含め、現地の発展に寄与する。</p>			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ミャンマーにおけるCKD(慢性腎臓病)の診断と治療並びに予防	
	団体名	いつでもどこでも血液浄化インターナショナル	
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日	
<p>血液透析は慢性腎不全の日常の治療としてわが国に迎え入れられているものの、その医療費支出が多額のために社会的問題となっている。ミャンマーのような低収入国；一日1ドルにもならない生活費で過ごす一般大衆にとり一回の透析費用40ドルはかけ離れた存在であり、ごく一部の人を除いて受け入れられていない。慢性腎不全に陥る前に、慢性腎臓病(腎機能が若干低下している疾患群；CKD)をテストテープ検尿により発見し、これ以上の腎機能の低下を防ぐ事がミャンマーの人々や医療財政にとり重要である。腎臓病検診の意義についてミャンマーの人々を説得することの意義もあきらかにしたい。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ブラジルの漁村におけるピアエデュケーションによる青少年の非行防止および村の担い手育成プロジェクト	
	団体名	CRI=チルドレンズ・リソース・インターナショナル	
	実施期間	2009年10月	～ 2010年3月
<p>ブラジル北東部の漁村に日本人の若者を派遣して、ピアエデュケーション(同年代教育)のアプローチから地域の青年グループを活性化するための活動を多角的に実施し、またファミリーライフ/キャリア教育を実施することで、村の将来を担う青年リーダーを育成すると共に、青年や子どもたちが麻薬や売春などのストリートクライムに巻き込まれることを予防する。</p>			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ペルー共和国首都リマ市内貧困地域における、貧困改善を目的とした青少年期女性の職能向上と資格取得の経済的支援計画	
	団体名	青年海外協力隊神奈川県OB会	
	実施期間	2009年10月1日	～ 2010年9月末日
<p>ペルー共和国の首都リマ市内にひろがるプエブロ・ホーベンと呼ばれる貧困地域に住む青年期女性5名*対象に、職能向上のための専門的スキル研修を受ける機会を確保し、貧困に起因する社会的・経済的問題を改善していくため、職に関する公認(コンピューター技師、栄養士・調理師、会計士)の資格を獲得できるように支援するものです。</p> <p>* この5名の女性は、2004年以降、協力団体となる現地NGO労働ネットワークグループによる研修に参加し、優良な成績を遺した研修生であり、NGOの今後の活動に継続して参加していくことを望んでいることから今回の支援の対象者として選抜されました。</p>			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	中国残留邦人及び中国在住親族の無料日本語教室設置と日本語教師研修支援講座開設及び留学支援事業	
	団体名	満州残英教育会	
	実施期間	2009年10月1日	～ 2010年9月30日
<p>中国の東北地域(旧満州地区)において、未帰国の中国残留邦人及び中国在住の残留邦人親族たちが、日本語の解らない現状に置かれており、帰国準備の早期日本語教育の普及及び改善を目的として、中国在住の残留邦人及び親族たちを対象として、中国現地の協力団体「鑫連鑫センター」と共同で無料「夜間及び休日日本語教室」と「日本語教師研修支援講座」を行う。</p>			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	メキシコ国チアパス州先住民コーヒー生産者協同組合のエンパワメント	
	団体名	慶應義塾大学山本純一研究室 フェアトレード・プロジェクト(FTP)	
	実施期間	2009年10月1日	～ 2010年3月31日
<p>メキシコ国南部貧困地域のチアパス州でコーヒーを生産している先住民協同組合を対象として、情報リテラシーと保健衛生を中心とした能力向上によるエンパワメントを目的として、現地中間組織と協働して研修を行う。</p>			

2009 年度	事業区分	団体活動充実	助成額
	事業名	厚木の市民事業とアジアをつなぐ「連帯経済」交流プロジェクト	
	団体名	ヒューマンサポートネットワーク厚木	
	実施期間	2009年10月1日	～ 2010年2月末日
<p>厚木市にある市民事業(高齢者福祉・子育て支援・リサイクルによる海外支援・多文化共生語学学習など)のネットワーク(以下「ヒューマンサポートネットワーク厚木」とアジアにおける連帯経済を担う社会的企業の実践者たちと交流をする。その中で、厚木の市民事業のスタッフの研修とアジアにおける連帯経済のネットワークを強める。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	スリランカ フルガンガ・リトルスター幼稚園支援事業	
	団体名	特定非営利活動法人 シギリヤ・レディ・ネットワーク	
	実施期間	2010年4月1日 ～ 2013年3月31日	
スリランカ中部にあるリトルスター幼稚園は貧困農園労働者等の子供を預かっているが、十分な幼児教育が出来ていない。本事業は同幼稚園の園舎建設と幼児教育内容や保健指導を行うことにより、就学前園児の教育内容の改善・充実させることを目的としている。これにより、卒園者がその後の初等・中等教育を効果的に受けられることが期待される。			

2009 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	世界平和のためのスポーツイベント事業	
	団体名	GLOBE PROJECT	
	実施期間	2010年4月1日 ～ 2011年3月31日	
日本でスポーツイベントを開催し、収益を使い途上国で活動を行う団体と協働し社会問題解決を図る。スポーツイベント開催を通し、社会問題の啓発と共に実際の問題解決も行う。誰もが楽しみながら社会問題の解決に参加できるという新しい社会貢献の形を広く提案していき、社会変革の担い手を育成します。			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	Rainmaker Project (レインメーカー・プロジェクト)～緑化及びそれによるコミュニティの形成及び環境教育プロジェクト	
	団体名	NPO法人 横浜アートプロジェクト	
	実施期間	2010年4月1日 ～ 2011年3月31日	
日本で開発された播種方法「粘土団子」を活用してケニアでの緑化事業を実施する。これ迄の活動で関係が強固に築かれているキブウェジ、オンガタロンガイでの播種を中心に、『SATOYAMA SYSTEM』(砂漠化はコミュニティから始まるという現実を踏まえ、コミュニティが森と共にサステナブルに継続していく仕組みの構築が必要とされていることから、「自然更新させていく森」と、現地住民が利用し、生活の糧を生み出す「有用林」を組み合わせるという仕組み。)構築に向け、その基礎を築くべく、現地市民団体Rainmaker Kenya 共同研究者である横浜国立大学藤原一繪教授 ナイロビ大学との協働を進める。昨年度から実施してきた			

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	「熱帯珊瑚礁保護区」を創設、環境教育をし、自立した持続可能なコミュニティをつくる。	
	団体名	NGO「南の島から」	
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年12月31日	
フィリピン共和国カオハガン島で、世界に誇れる、環境保護、環境教育を目的とした「熱帯珊瑚礁保護区」を創ります。人材を育成し、それを通し、島民たちの「暮らしのニーズ」の充足、生活向上を目指し、21世紀後半、22世紀へと持続可能なコミュニティ創りを、島民たちと一緒にやって行きます。			

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ブラジル東北部の貧しい漁村における、コミュニティネットワーク構築プロジェクト	
	団体名	光の子どもたちの会	
	実施期間	2011年4月1日 ～ 2012年3月31日	
ブラジル国の貧しい漁村地域において、中学生を中心とした家族計画の構築を目指し、公的機関での研修を行う中で、地域住民自らがよりよい生活環境づくりに取り組み、生活の向上を目指すことを目的として、コミュニティネットワークの形成を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2010 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	世界平和のためのスポーツイベント事業	
	団体名	GLOBE PROJECT	
	実施期間	2011年4月1日 ～ 2012年3月31日	
<p>日本でスポーツイベントを開催し、収益を使い途上国で活動を行う団体と協働し社会問題解決を図る。スポーツイベント開催を通じ、社会問題の啓発と共に実際の問題解決も行う。誰もが楽しみながら社会問題の解決に参加できるという新しい社会貢献の形を広く提案していく。</p>			

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	バングラデシュにおける職業訓練事業プロジェクト	
	団体名	一般財団法人世界こども財団	
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>国内外の子どもたちの教育・医療・福祉に関する諸問題を調査研究し、かつこれら分野の将来のあるべき姿を探求・提言するとともに、子どもたちの健やかな成長を支えるための必要な事業を行い、もって国内はもとより海外の子どもたちの「ともに生きる力」を育み、健全な育成に寄与する。</p>			

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インドの貧困村の自立の為に必要な、子どもたちの栄養改善と生活安定のための洋裁指導	
	団体名	チーム ピース チャレンジャー	
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>インド・ビハール州ガヤ地区は、農村地域でインドでも指折りの貧困地域です。この村の栄養失調で苦しんでいる無料のスクールの子どもたちに健康を取り戻し、勉強に励んでもらうために、学校給食を出してあげること、仕事もなく食べることに苦しみ、自分の子どもを学校に行かせることのできない女性たちに手仕事を教えて村の発展に繋げていく事業です。</p>			

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	タイにおけるミャンマー移民学校に在籍する学童への支援事業	
	団体名	メータオ・クリニック支援の会	
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>タイのターク県では、戦闘や貧困等の理由で母国を離れ、多くのミャンマー人移民の学童が現地ミャンマー人移民学校で学んでいる。これらの学童に対して、その学校生活また心理面の改善について支援を行う。</p>			

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパール国カブレパランチョークの小学校における環境改善プロジェクト	
	団体名	特定非営利活動法人 パックス・アース	
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>ネパールの中部バグマティエリアに位置するカブレパランチョークの学齢児童(6歳～11歳の初等教育層)を対象に教育環境と生活衛生環境の整備、改善を行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2011 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	映画リテラシー教育、映画作りワークショップを通じたコミュニティの担い手育成	
	団体名	地球家族の会	
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日	
<p>神奈川県下における多文化共生の媒体として、映画の重要性を位置づける。これまで「地球家族の会」が提唱し、映画教育及び映画作りを通じて断続的に実践してきた、多言語・多民族・多文化の地域社会におけるコミュニティ形成のワーキンググループを、映画製作・映画教育の専門家の専門的能力を活用しつつ、てこ入れし、持続的に活動を支えうる人材を育成する。</p>			

2011 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	インドシナ難民定住者の相談員を兼ねた通訳・翻訳者育成の基礎研修事業	
	団体名	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会	
	実施期間	2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	
<p>インドシナ難民定住者が地域社会に主体的に関われるように、日常生活上の問題解決を図るため、難民定住者が法律や日本語研修、IT技術などを学んで、知識を養うと共に相談員として相互扶助活動をしながらか経験を積み、積極的な情報収集にも努め、難民定住者の自立化を目指す。</p>			

2011 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	外国につながる子どもと保護者と学校との相互理解向上プロジェクト	
	団体名	TOMORUー外国につながる神奈川県教育支援	
	実施期間	2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	
<p>神奈川県において、外国につながる子どもと保護者を対象とし、県内小中学校への入学・転編入学時の不安解消および就学後の学校生活適応に役立ち、相互理解向上を目的とする他言語版DVD作品を制作する。</p>			

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ネパール国カブレバランチョークの小学校における環境改善プロジェクト	
	団体名	特定非営利活動法人 パックス・アース	
	実施期間	2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	
<p>ネパールと日本の青年を中心としたメンバーにより、ネパールの中部バグマティエリアに位置するカブレバランチョーク郡(カトマンズより南東に約75kmの位置)の小学校に在籍する学齢児童(6歳～11歳の初等教育層)を対象に教育環境と生活環境の整備と改善を行う。</p>			

2012 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	マイクロファイナンスコースへの神奈川県大学生参加招聘と、大学生による「マイクロファイナンスを通して見る、これからの発展途上国と日本」(仮)シンポジウムの開催	
	団体名	一般財団法人アライアンス・フォーラム財団	
	実施期間	2012年10月 ～ 2013年9月	
<p>過去5回実施の実績がある、当財団とBRAC(世界最大NGO)の共同のマイクロファイナンスコースに、神奈川県大学生を年間9名招聘。コース参加後に彼らによる「マイクロファイナンスコースを通して見る、これからの発展途上国と日本」(仮)シンポジウムを当財団オフィスラウンジ(横浜三井ビル)にて開催する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	養蚕を用いたタイ北部における自立支援プロジェクト	
	団体名	アジアの女性と子どもネットワーク	
	実施期間	2012年10月	～ 2013年9月
<p>タイ北部チェンマイ県サムン郡とサンカンペーン郡の地域において、貧しいが故に教育を十分に受けることができない子どもたちの生活環境向上、自立支援の目的で、現地の学校や財団と共に養蚕事業を行う。生産された繭はこれまで通りの絹糸としての製品化のほかに、繭そのものをシルクたんぱくとして利用できるようにし、不揃いの小さな繭や傷の付いたものも商品とできるようにする。シルクたんぱくとしての活用等に関しては、東京農業大学農学部の高島孝行教授から技術指導が行われる。</p>			

2012 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	外国にルーツを持つ子どものアイデンティティ支援	
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会	
	実施期間	2012年10月1日	～ 2013年9月30日
<p>日本で生まれ育った外国にルーツを持つ子どもたちがダブルリミテッド(＝差別用語の為外部への使用不可:家庭ではスペイン語、学校では日本語で話す環境に育っているため語彙が少なく、母語のスペイン語能力はもちろんのこと日本語の能力も十分ではない)の状態に悩んでいる。彼らが自分のルーツ国の事を学び誇りを持って日本で生活できるようにサポートする。</p>			

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥0
	事業名	モーリヤンク学校用地 井戸掘りプロジェクト		
	団体名	ハイチの会・セスラ		
	実施期間	2013年5月20日	～	2013年6月5日
<p>ハイチのアルチボニット県において、当会の支援でセスラ校が取得した学校用地1.3ヘクタールの土地に、井戸を掘り、きれいな飲み水を確保する。井戸がいつも飲料に適した水を供給するように、メンテナンスや水質検査について住民を指導する。</p>				

2012 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥0
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制の向上と災害時サポートを軸としたまちづくり支援事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2013年4月1日	～	2014年3月31日
<p>地域でニーズが非常に高い言語で、生活をサポートする生活相談と情報発信事業を行う。日常生活サポートはもちろん、災害時にも多言語で地域に住む外国人住民をサポートできるシステムづくりを行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。</p>				

2013 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	ラタジャトラ祭り	
	団体名	Odisha Community Japan(オディサ コミュニティ ジャパン)	
	実施期間	2013年10月1日	～ 2014年9月30日
<p>オディサ州(オリッサ州)発祥のインド最大の祭り「ラタジャトラ」を企画・実施することにより、地域社会との相互理解を促進する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2013 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	スリランカ リトルスター幼稚園支援事業及び地域住民への保健衛生意識の普及事業	
	団体名	特定非営利活動法人シギリヤ・レディ・ネットワーク	
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>これまで、スリランカ中部州のフルガンガ地区にあるリトルスター幼稚園への支援を行った結果、新しい園舎の建設、および付帯設備が完成して運用されているが、今後は保健衛生・音楽・語学・算数等教育内容の充実を図り、更に各種催し物を通して、保護者及び地域住民への保健衛生意識の普及を図る。</p> <p>また、昨年末に発生した豪雨による園舎の被害の復旧、再発防止処置を実施し、安全な教育環境を整備する。</p>			

2013 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	農業振興を中心に加工、流通までを含めた地域開発モデル普及のための視聴覚教材制作	
	団体名	特定非営利活動法人エーピーエスディ(APSD)	
	実施期間	2013年10月 ～ 2014年9月	
<p>ソロモン諸島国の自立発展に向けた「小規模産業」のモデル構築のための視聴覚教材の制作。</p> <p>地方の農民を対象に映像を通じて農業振興を中心に加工、流通、そして現金収入の機会までの流れを解説する。視聴覚教材を使いながら村落をワークショップで巡回し小規模産業普及の啓蒙活動を行なう。</p>			

2013 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インド、貧困村の女性の自立支援のための職業訓練プロジェクト	
	団体名	チーム ピース チャレンジャー	
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>インド、ビハール州、ガヤ地区において、貧困で教育を受ける機会もなく、また、子どもも学校にやれずに働かせなければならない状況の村の女性たちを対象にして、貧困脱却を目的として、村に建てられた職業訓練所に技術者を派遣して、洋裁と編み物の技術指導を行います。</p>			

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	在日コリアン高齢者への相談・介護の質の向上を図るための支援事業	
	団体名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団	
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日	
<p>神奈川県在住の在日コリアン高齢者の社会福祉、施設福祉の質の向上のため、在日コリアン高齢者を身近で支援する川崎市川崎地区の高齢者専門スタッフに対し、聞き取り調査を行い、コリアン文化や生活背景に配慮した「相談支援・介護援助手引き書」を作成する。</p> <p>また、作成した「相談支援・介護援助手引き書」は、川崎市川崎区、横須賀地区、秦野地区の高齢者支援の関係機関の高齢者支援職員(介護支援専門員、施設職員)の研修教材として活用する。</p>			

2014 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インドネシア、タンジュン・プティン国立公園周辺における地域住民の生活向上プロジェクト	
	団体名	F. C Manis マニスファンクラブ	
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日	
<p>インドネシア共和国、中央カリマンタンの南に位置するタンジュン・プティン国立公園周辺地域のハラバン村において、仕事がなく生活が苦しい状況におかれている人々を対象として、当該地域の特性を活かした持続可能な森林保全およびオランウータンの保護を目的としてインドネシアのローカルNGO、地域住民、国立公園と共同し観光業でハラバン村の生活向上を図るプロジェクトを行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	外国人による観光都市鎌倉の文化と歴史そして食文化の普及促進事業	
	団体名	特定非営利活動法人JIAOLIU鎌倉	
	実施期間	2014年10月1日	～ 2015年9月30日
<p>日本に居住している外国人や留学生を対象に、日本の文化・歴史体験プログラムを実施し、それにより得た体験や知識を活用し観光ガイドとして活躍の場を作る。引いては外国人住民の目からみた鎌倉市の魅力(豊かな食文化など)を世界に発信する。</p>			

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	かわさき国際交流民間団体連絡協議会20周年記念シンポジウムと記念誌発行事業	
	団体名	かわさき国際交流民間団体連絡協議会	
	実施期間	2014年1月17日	～ 2015年9月30日
<p>20年間の活動を振り返り今後を考えるシンポジウムの開催と若者の参加を促進するための記念誌発行事業</p>			

2015 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	日本発祥「富山の置き薬」システムを用いてアフリカ農村部の人々へ医薬品を届ける自立型ソーシャルビジネス	
	団体名	特定非営利活動法人AfriMedico	
	実施期間	2015年10月1日	～ 2016年9月30日
<p>病院・薬局へのアクセスが悪いタンザニア農村部へ、家に薬箱を設置し、使った分だけ支払う日本の“置き薬”ビジネスモデルを展開する。現地の医療環境を改善し、継続して回せる仕組みを構築しながら日本とアフリカの医薬品ビジネスの架け橋を築き、医療へのアクセスが困難な住民の健康増進に貢献する。</p>			

年度	事業区分		助成額
	事業名		
	団体名		
	実施期間		～
<p></p>			

2015 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	ネパール大地震被害都市の住民のための復興支援事業	
	団体名	シティネット横浜プロジェクトオフィス	
	実施期間	2015/11/1	～ 2017/10/31
<p>2015年4月25日にネパールを襲ったマグネチュード7.8の大規模地震は、震源地に近いカトマンズ市や地方都市で甚大な被害をもたらした。本事業では、ネパールの被災者の方々が一刻も早くこの惨事から立ち直るために、シティネットの都市間協力ネットワークとこれまでの事業成功経験を活かし、被災者のために必要に応じたインフラ整備と、今後の防災・減災に向けた活動を実施する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2015 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	アナイコット村における灌漑設備用(飲料水含む)パイプラインの設置	
	団体名	特定非営利活動法人 ラブグリーンジャパン	
	実施期間	2015/12/1	～ 2016/5/31
<p>ネパール大地震から5ヶ月が経過する中、アナイコット村に敷設した水源地からの灌漑設備用のパイプラインが破損して、飲料水の使用、貯水槽への水の供給が出来なくなった。</p> <p>地震災害を受けて乾季を迎えるにあたり、農民にとって水不足の解消が重要となるため、新しいパイプラインの設置を行う。</p>			

2015 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	インドネシア中央カリマンタン エルニーニョの影響による大規模火災への緊急支援	
	団体名	F. C Manis マニスファンクラブ	
	実施期間	2015年11月	～ 2016年3月
<p>1997年～98年以来の大規模なエルニーニョの影響により、インドネシア国内では例年に比べ極端に降雨が少なく、異常乾燥が続き、8月半ばより多くの森林火災が発生して、四国地方を上回る面積が燃えている。国立公園周辺地域でも大規模火災が発生し、現地のNGOであるFNPFが中心となり消火活動及び消火指揮を行っている。通年になく強いエルニーニョの影響による大規模森林火災の為、災害範囲は広がり、火災活動に必要な道具、装備が不足し、FNPF及び地域住民から消火活動に必要な消火道具や装備品の支援要請を受けている。</p> <p>消火活動に必要な用具や装備品の輸送に合わせて野営専門家(調整中)を現地に派遣し、消火道具及び装備品について指導を実施し、防災計</p>			

2016 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ヨルダンにおけるシリア難民内戦負傷者・障害者支援	
	団体名	特定非営利活動法人日本イラク医療支援ネットワーク	
	実施期間	2017年1月	～ 2017年6月
<p>東アンマンに暮らすシリア難民の負傷者・障害者、ザアタリ難民キャンプの負傷者・障害者、また北部イルビッドの女性負傷者・障害者に理学療法を施すために理学療法士を派遣する在宅リハビリ活動、および北部イルビッドにて、負傷者・障害者の社会参加を目指した活動を自分たちで計画、実施する活動を行う。</p>			

2016 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	HAYAMA & CHILE MADRE LATINA PROJECT 「葉山とチリを結ぶ 母親たちのプロジェクト事業」	
	団体名	NPO法人葉山すくすくパラダイス	
	実施期間	2016年10月1日	～ 2017年9月30日
<p>チリ国のクララウエ市(人口3万人)において、貧困な状況におかれている女性達を対象とし、生活状況の改善を目的に、当法人と協業し、革・ニット類をはじめとする製品を製作、神奈川県内を主に、販売するフェアトレード事業を行う。</p> <p>地域の貧困層の女性たちの支援をとJICAシニアボランティアから送られた産品を見た葉山の母親たちが革の品質に着目し企画・デザインし画像を添付した仕様書にて発注、現地の女性たちが製作したものを現地市場価格で買い入れる。現地との交渉・商品管理等はすべて葉山在住の母親達がおこなう。母親たちの手による身近な国際貢献活動をアピールしながらこの事業を定着させる。</p>			

2016 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	USDにおけるカンボジア製麺プロジェクト	
	団体名	NGO USD	
	実施期間	2016年10月1日	～ 2017年9月30日
<p>カンボジアのプノンペン特別市スタンミエンチャイ地区において、貧困な状況におかれている人々を対象に製麺事業を通じて就業支援し、安定的な収入を得ることで貧困率の低下とその子どもたちに基礎教育を受けられる環境を整えることを目的とする。また、日本とカンボジアの食文化についての理解を深め、「麺」を通じて「食育」も行う。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2016 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	インドネシア 中央カリマンタン タンジュンブティン国立公園周辺地域の防災計画支援事業	
	団体名	F.C Manis マニスファンクラブ	
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日	
<p>インドネシア・中央カリマンタン・タンジュンブティン国立公園(以下TPNP)周辺地域は昨年エルニーニョの影響で大規模な森林火災が発生し、13万ha(神奈川県約1/2の面積)の森林が消失。この火災をきっかけに「自分たちの森を守りたい」と住民の意思による消防団(仮称:TPNP消防団)が結成され、支援要請を受けた。要請に対し当団体所在地の葉山町消防署に協力を依頼し、火災を未然に防ぐ防災計画の助言と支援を行う。</p>			

2016 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	人身売買被害女性のための社会復帰支援プロジェクト	
	団体名	特定非営利活動法人ラリグラス・ジャパン	
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日	
<p>ネパール国のカトマンズ地域において、人身売買被害女性を対象として彼女たちの社会復帰支援を目的とし、現地NGOマイティ・ネパールと共同で職業訓練を行う。</p>			

2017 年度	事業区分	担い手育成	助成額
	事業名	神奈川県内の学生及び教員へのグローバル人材育成プロジェクト	
	団体名	特定非営利活動法人Connection of the Children	
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日	
<p>神奈川県内の学生及び若手教員を対象とし、「日常と異なる価値観の中で生活する体験を通し、多角的な視野で次世代の子どもへ指導できる人材の育成」を目的に、海外への教育機関へのインターンプログラム「タビターン」及び、教育プログラム「タビノバ」を実施する。</p>			

2018 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	多国籍交流拠点CASACOを通じた地域発の異文化理解交流の促進事業	
	団体名	特定非営利活動法人Connection of the Children	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>団体の活動拠点として横浜市西区東ヶ丘にある多世代多国籍交流拠点CASACOにて、周辺地域にすむ外国人居住者や日本を訪れる留学生らと協力し、地域住民やCASACO訪問者との交流、異文化理解の活動を既存の取り組みを強化し、拡大しながら実施する。</p>			

2018 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ミャンマー少数民族の村落における教育支援を通じた内発的自立支援	
	団体名	認定NPO法人地球市民ACTかながわ	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>近年、民政移管されたミャンマーは、近代化に伴い現在多くの課題を抱えている。この事業では、南シャン州の村落において、ビルマ族と少数民族の「貧困」の格差を是正するために、民族の伝統文化を守りつつ、自立的で持続的な開発につなげることを目的とし、新しい参加型手法「コミティ・アプローチ」を用いて保育園建設を実施し、これを通じて村落の内発的発展を促進する。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2018 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	いちよう団地における相談および日本語学習拠点づくり事業	
	団体名	多文化まちづくり工房	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>外国人の集住地域において、閉校した学校の跡地を利用し、母語での情報提供や生活相談、日本語学習を含めた居場所を提供する。あまり窓口に配置されていないベトナム語やカンボジア語の通訳に常駐してもらい、生活相談を受けつつ、時間帯、学習内容ともに多様化する日本語学習ニーズに対応できるよう、日本語ボランティアと外国籍住民との間をコーディネートする。</p>			

2018 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	パオ族自治村における住民の生活の質の向上を目指した地域開発支援事業	
	団体名	特定非営利活動法人 地球のステージ	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>パオ族が独自のコミュニティで生活するミャッセ・ミャー村において、地域住民の生活の質を向上させることを目的に村の運営体制を整える。村の独自性を考慮した上で、多くの地域住民に対して村運営参加機会を増やし、行政予算がない状況では実現が難しい保健医療などの公的サービスを提供することで、より住みやすいまちづくりを応援する。</p>			

2018 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	地域の森に生育する植物を生かした、子どもの健康改善プロジェクト	
	団体名	特定非営利活動法人光の子どもたちの会	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>ブラジル国のカノア・ケブラーダ地域において、子どもやその家族を対象として、生活習慣病の改善を目的に、地域住民と共同で成長著しい子どもの体を健全に保っていくために、森に生育する薬草などの使用方法など、昔ながらの知恵をまだ年配者が存命の内に調査し、冊子にまとめると同時に、子どもたちと森の保全活動を行う。</p>			

2018 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	手掘りダイヤモンド採掘労働者達の組織力を高めるための基礎研修プログラム開発	
	団体名	特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>貧困や人権侵害に苦しむ手掘りダイヤモンド採掘労働者たちが組織化し、組織力を向上させるための能力を向上させる基礎研修プログラム(チームビルディング研修+人権研修+リーダーシップ・マネジメント研修)を開発する。</p>			

2018 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	難民キャンプにオフグリッド電源によるICT教育機会を創る事業	
	団体名	特定非営利活動法人Class for Everyone	
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日	
<p>難民キャンプで生活する子ども達のために、現地企業・NGOと連携して自然エネルギーを活用したオフグリッド型のICT教育環境を作り、さらに作った電気をあらゆる課題解決に役立てる。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2019 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	ブラジル北東部アラカチ市公立学校教員及び神奈川県秦野市内の公立小学校教員の相互研修事業	
	団体名	特定非営利活動法人 光の子どもたちの会	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/3/31	
<p>ブラジル国セアラ州アラカチ市の公立学校において、生徒自らが自分の将来展望を考え、同展望を実現しうる能力を養うため、地域の問題や課題を学校内で積極的に取り上げる仕組みを構築する。現地教員1名を日本に招へいし、日本の学校教育について学ぶと同時に、「ブラジルの文化及び教育」に関する講演会を実施する。また、神奈川県内においても多国籍児童へのより良い対応を学ぶため、招へいされた教員による講演会に出席した国内の教職員がブラ</p>			

2019 年度	事業区分	海外協力	助成額
	事業名	日本とタイの相互の学びあいによる「コミュニティ高齢者ケア」プロジェクト	
	団体名	野毛坂グローバル	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/5/31	
<p>タイ国のブンイトー市およびバンシートン市において、自治体や大学と共同で、高齢者ケアに関する地域住民によるボランティア活動強化や住民活動強化を実施する。現地だけでなく、相互の学び合いを通じて、日本の地域コミュニティにおける高齢者ケア活動の強化にも資する。日タイの住民リーダーが共通の具体的な地域課題に取り組むことにより、外国人と神奈川の地域の異文化理解・多文化共生社会実現につながることも期待する。</p>			

2019 年度	事業区分	国内協力	助成額
	事業名	新在留制度の新たな被害者を産み出す前に我々市民ができること	
	団体名	地球市民交流会・神奈川	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/9/30	
<p>入管法の改定により、さらに多くの外国人労働者の入国が予想され、現地の送り出し機関と日本国内の受入機関の対応だけでは、労働トラブルが見込まれる。 そこで、多数の労働者を送り出すベトナムや中国においての来日前の事前研修、来日後の定期面談・日本定着訓練・相談会、支援人材の育成を実施する。</p>			

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	トマトマ 多文化OB・多文化社会人との連携交流事業	
	団体名	TIE トマトマの会	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/9/30	
<p>様々な国や地域から様々な背景・状況をもって、自分の意志とはかかわりなく移住してくる子ども達が年々増加している。マイノリティとして困難を抱え、学校、地域、時には家庭からも孤立しがちな子どもや青少年達にとって、安心して前に進めるきっかけとなる居場所が多く地域に求められている。当会ではこれまでの活動で支えてきた多様な文化的背景を持つOBたちとの関係を活かし、普段は会えない子ども、OB、ボ</p>			

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	ネイティブ相談員研究会	
	団体名	日本外国人ネットワーク	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/9/30	
<p>公的な外国人相談窓口では相談員の多くをネイティブ相談員が占めるが、その特性を生かした運用をしているとは言い難く、またその分野の研究も不足している。 ネイティブ相談員のための研修やコミュニティ別マニュアルの作成や勉強会をおこない、外国人市民が能動的に日本社会に参加・協働する機会を提供し、同時にネイティブ相談員同士の交流・親睦を図る。</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額
	事業名	多文化共生保育プロジェクト	
	団体名	多文化共生保育研修会	
	実施期間	2019/10/1 ~ 2020/9/30	
<p>外国にルーツを持つ利用者も多い川崎市の乳幼児の保育施設であるが、外国にルーツを持つ子どもや外国人保護者の子育て支援に対する研修が実施されていない状況であり、外国人保護者や乳幼児の困り感を把握し、適切な支援ができていない。そこで保育者を対象として、外国人保護者への具体的な支援やよりよい多文化共生保育を目的とした研修をおこなうことにより、多文化共生を意識した保育を神奈川県内の</p>			

2020 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額
	事業名	異文化交流型のモビリティオフグリッド電源制作事業	
	団体名	NPO法人Class for Everyone	
	実施期間	2020/10 ~ 2020/9	
<p>ソーラーパネルを使った電気の作り方を学び、さらに実用的なモビリティ型のオフグリッド電源を作るワークショップを神奈川県内で実施する。その際に、パートナーが外国人(特に東南アジア、アフリカ)という方に参加してもらい、電気の安定供給が難しい国・地域でも使えるモビリティ型電源のデザインを考えて形にする。将来的には、ここで出来上がったモデルを海外で活用すると共に、日本国内でも防災グッズとして広める。</p>			

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額
	事業名	財政基盤強化のための書籍販売広報ツールの拡充	
	団体名	NPO法人UAPACAA国際保全パートナーズ	
	実施期間	~	
<p>収益事業として「書籍の出版・販売」を手掛けることになっているが、設立2年が経過した現在も、本格的に開始するに至っていない。公益事業にかかる広報素材として関連書籍を販売することによって、世界の自然保護に貢献する国際貢献への理解を深めるため、魅力的なウェブ購買ページを構築する。</p>			

2020 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額
	事業名	「地域の力を最大活用した高齢者ケア」を実現する日本とタイの相互の学びあいプロジェクト	
	団体名	野毛坂グローバル	
	実施期間	2020/10/1 ~ 2021/6/30	
<p>タイ国のバンシートン市およびタップマー市の地域コミュニティで高齢者ケアを行う住民ボランティアを対象として、横浜、湯河原町などの神奈川県内の地域コミュニティで高齢者ケアを行う住民ボランティアとの学びあいを実施する。</p> <p>①タイの高齢者ケアにかかるボランティア及び担当自治体職員などを日本に招聘し、タイの高齢者ケア活</p>			

2020 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	コロナ禍における、地域外国人住民への心理社会的ケアプログラム	
	団体名	SONRISA	
	実施期間	2020年8月 ~ 2021年7月	
<p>コロナ禍において、社会経済的にも生活基盤もともと脆弱な外国人住民の生活は危機に瀕している。ひとつひとつのケースを丁寧に拾い上げ、声を聴き、社会資源や適切な相談機関に繋げること、心理社会的に複雑な問題を抱えた家族に対しては支援とケアが、また地域全体への働きかけが求められる。</p> <p>SONRISAでは、長年藤沢教会を拠点とする相談機関である救急の会のアウトリーチ相談活動のバックアップ、問題</p>			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2022年1月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2020 年度	事業区分	緊急支援	助成額
	事業名	外国につながる子どものオンライン特別学習支援と情報提供プロジェクト	
	団体名	多文化活動連絡協議会	
	実施期間	2020年9月1日 ～ 2021年8月31日	
<p>新型コロナウイルスの対策により、外国につながる子どもの世帯への情報提供が滞っている。また、外出の自粛により、子どもが日本語と接する時間が減り、日本語の学習力、日本語での理解がコロナ以前より大きく後退している。その対策として、学習の機会を増やす。また、生活の不安を減らすために、コロナ共存の中家庭が必要とする言語での緊急情報を提供する。</p>			

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額
	事業名	ミャンマーと日本の持続的なつながりのためのオンライン日本語教室	
	団体名	リンクトゥミャンマー	
	実施期間	2021/10/01 ～ 2022/9/30	
<p>将来来日を希望するミャンマー人を対象に、オンラインで日本語教室を開催する。★申請取り下げ</p>			

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額
	事業名	日本にしながら多文化協働が体験できる特別な2日間を届ける！イベント型越境プログラム	
	団体名	株式会社 An-Nahal	
	実施期間	～	
<p>「多様な人材が協働する社会作り」を目指し、年齢や職業のみならず、国籍といったバックグラウンドなども多様な参加者が集まり、1つのテーマについてそれぞれの視点や考えを共有しながら、それぞれの違いを享受することはコラボレーションの源泉であることを体験する新しい形の学びのプログラムを実施する。</p>			

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額
	事業名	在住カンボジア人向け日本語教室と定期相談会のプロジェクト	
	団体名	一般社団法人カンボジア文化センタークメールサマキ協会	
	実施期間	～	
<p>地域住民とカンボジア人がお互いの文化や言葉を知り、理解を深めるため互いのコミュニケーションを取りやすくなるため言葉が学べる語学教室の開設が必要だと考えます。</p>			